

もりおか あきた おほない そつだ
盛岡秋田道路(生保内～卒田)

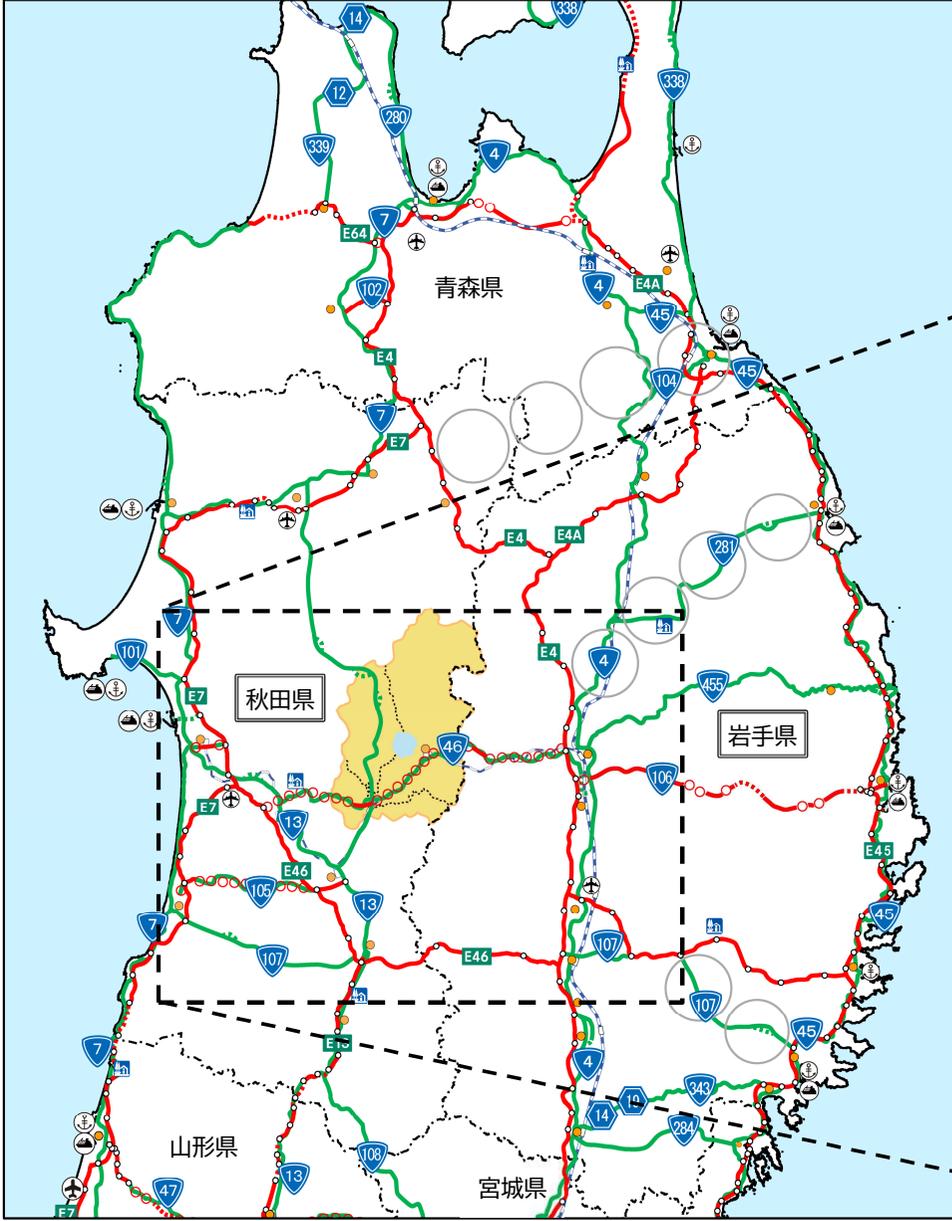
第2回 計画段階評価

1. 計画段階評価の検討の流れ	… 1
2. 第1回地域の意見聴取結果の確認	… 4
3. 政策目標の設定	… 31
4. 対応方針(ルート帯案)の検討	… 32
5. 第2回地域の意見聴取の方法	… 39

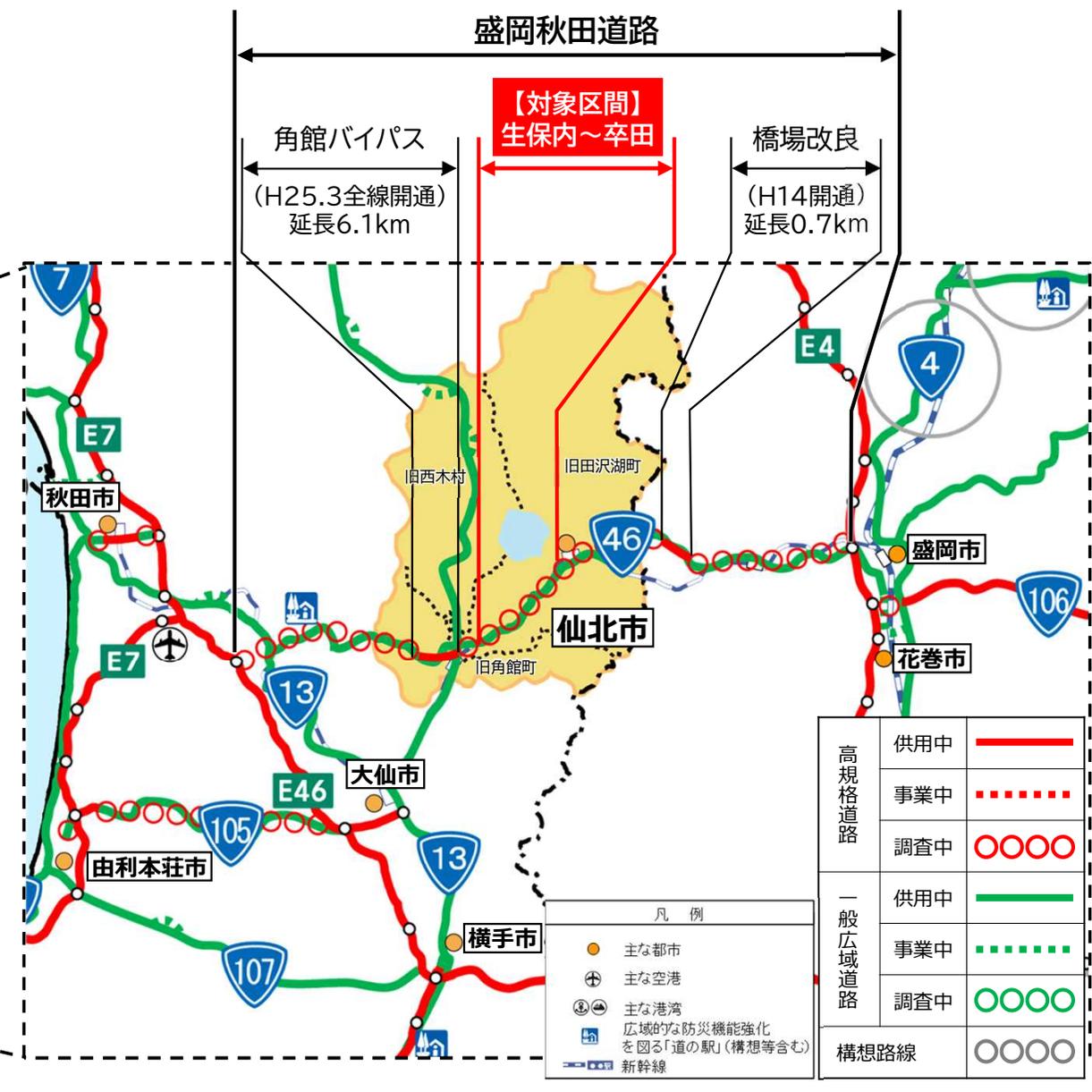
1-1. 評価対象区間

- ◆盛岡秋田道路は、岩手県盛岡市と秋田県大仙市を結ぶ高規格道路。
- ◆評価対象区間（以下、「対象区間」）は仙北市田沢湖地区と角館地区を結ぶ延長約11kmの2車線区間である。

【図1】対象地域の位置図



【図2】対象地域の交通網



高規格道路	供用中	——
	事業中
	調査中	○○○○
一般広域道路	供用中	——
	事業中
	調査中	○○○○
構想路線		○○○○

- 凡例
- 主な都市
 - ✈ 主な空港
 - ⚓ 主な港湾
 - 🏠 広域的な防災機能強化を図る「道の駅」(構想等含む)
 - 新幹線

1-2. 前回(第1回)審議内容

■第40回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：令和5年8月24日（木）開催

議事：①評価対象区間

②計画段階評価の進め方（案）

③地域の概況

④道路交通・地域の状況と課題

⑤政策目標（案）の設定

⑥地域の将来像

⑦意見聴取方法（案）

【表1】前回審議における主な指摘事項と対応

指摘事項	対応	対応頁
<ul style="list-style-type: none"> アンケートでは、冬期の課題も抽出するため、冬期の設問を追加すると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 設問を通常期・冬期両方記載できるように見直し。 (冬期 ☺ (12~3月)、冬期以外(4~11月)) 	P6
<ul style="list-style-type: none"> アンケート票の質問② Aの「急カーブ・急勾配が多く」は他の項目にも関係する話であるため、Aの評価と同じように他の項目も評価してもらうか分かるようにすると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問② - (2) のA設問とB設問を修正。 A設問のみ問題点では無く、原因を記載していたため。 訂正前) 急カーブや急勾配が多く、走行性が悪い。 訂正後) 速度低下や事故が多発している。 細かな部分は自由意見に回答を頂くようにする。 	P6
<ul style="list-style-type: none"> 「冬期の意見は自由記入」としているが、アンケート票に記載しないと伝わらないため修正すると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 設問を通常期・冬期両方記載できるように見直し。 (冬期 ☺ (12~3月)、冬期以外(4~11月)) 	P6
<ul style="list-style-type: none"> 課題説明のチラシについて、1～5の数字で表現されているが、葉書ではA～Eと表現されており統一されていない。A～Eの表現で統一すると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 数字からアルファベット表記に統一。 	P7

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

◆地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、ルート帯案について検討を行う。

計画段階評価

第1回 東北地方小委員会 (R5.8.24)

- 計画段階評価手続きの進め方(案)
- 地域の現況と課題
- 政策目標(案)
- 意見聴取方法(案)

第1回 意見聴取 (R5.10.26~R6.1.10)

- 意見聴取内容
 - ・地域、道路の課題
 - ・求められる道路機能
- 意見聴取方法
 - <アンケート>
 - 対象者：地域住民
道路利用者
企業 等
 - <ヒアリング>
 - 対象者：関係自治体
団体
企業 等

今回

第2回 東北地方小委員会

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の決定
- 評価項目の設定
- 対応方針(複数案)の設定
- 意見聴取方法(案)

第2回 意見聴取

- 意見聴取内容
 - ・対応方針(複数案)の検討に際し重視する項目
- 意見聴取方法
 - <アンケート>
 - 対象者：地域住民
道路利用者
企業 等
 - <ヒアリング>
 - 対象者：関係自治体
団体
企業 等

第3回 東北地方小委員会

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対応方針案
(概略ルート、構造等)

対応方針
(概略ルート、構造)
の決定

地方小委員会

2-1. 第1回地域の意見聴取の実施内容

◆第1回地域の意見聴取は、地域住民・道路利用者・事業者へのアンケート調査及び、関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和5年10月26日～令和6年1月10日

2. 意見聴取の対象

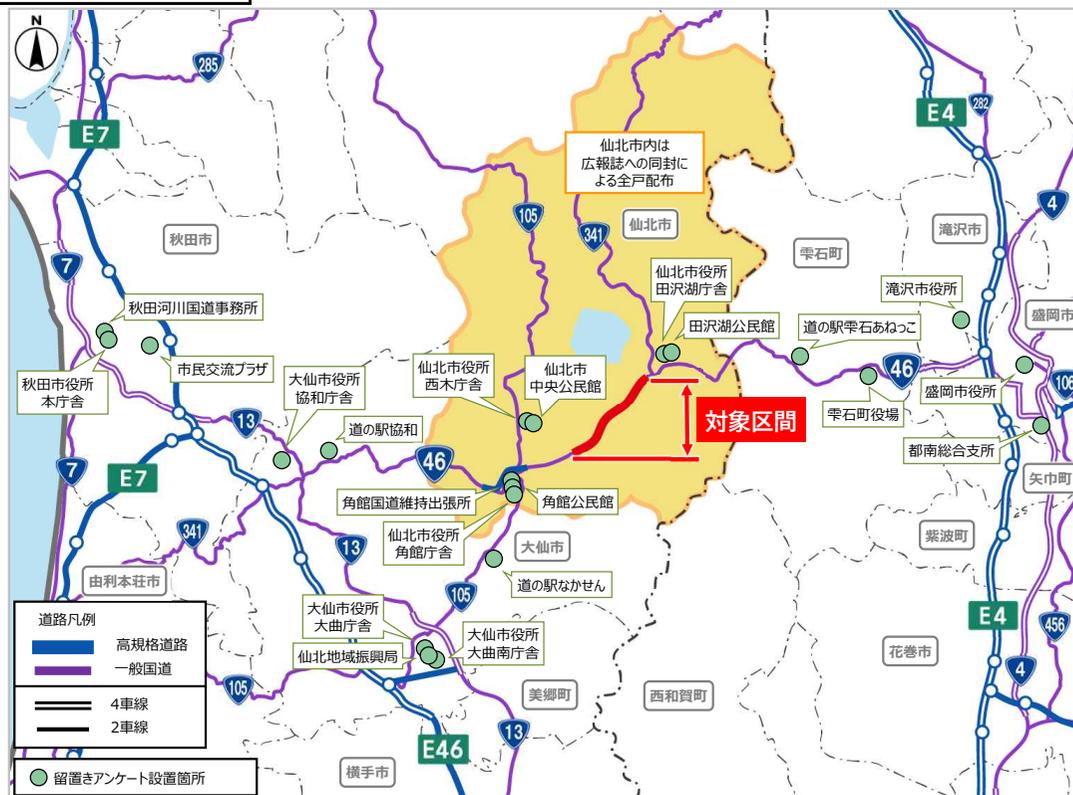
【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

調査対象者		調査方法・規模
地域住民	・仙北市	・広報誌への同封による全戸配布 10,340世帯
道路利用者	・仙北市、大仙市、秋田市、 雫石町、滝沢市、盛岡市	・Webアンケート（事務所ホームページ） ・留置きアンケート（21箇所）
事業者等	・対象区間の利用企業及び周辺立地企業 秋田・岩手県内（仙北市、大仙市、 秋田市、盛岡市、矢巾町等）	・郵送配布、郵送回収 242社

※留置きアンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。
 国土交通省：秋田河川国道事務所、角館国道維持出張所
 秋田県：仙北地域振興局
 市役所：仙北市役所（田沢湖庁舎、角館庁舎、西木庁舎）
 大仙市役所（大曲庁舎、大曲南庁舎、協和庁舎）
 秋田市役所（本庁舎、市民交流プラザ）
 雫石町役場
 滝沢市役所
 盛岡市役所（本庁舎、都南総合支所）
 公民館：仙北市内の公民館（中央公民館、角館公民館、田沢湖公民館）
 道の駅：道の駅「協和」、道の駅「なかせん」、道の駅「雫石あねっこ」

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

項目	ヒアリング対象
関係団体 (40団体)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県（2団体） ・自治体（1市） ・観光協会（2団体） ・消防機関（1団体） ・医療機関（1団体） ・教育機関（1団体） ・商工会議所（1団体） ・バス協会（1団体） ・バス事業者（7社） ・トラック協会（1団体） ・物流業者（8社） ・警察機関（1団体） ・農業関連団体（1団体） ・製造業者（8社） ・小売業者（1社） ・道の駅（3団体）



2-2.第1回地域の意見聴取の実施内容

- ◆地域住民へのアンケートは、仙北市に全戸配布、Webアンケート・留置きアンケートを実施。全体の回収数は3,306票、郵送配布における世帯単位での回収率は約19%となった。
- ◆事業者へのアンケートは、対象地域の製造業者、沿線の物流業者を対象に行い、回収数は102票、郵送配布における回収率は約38%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	周知方法	配布数	回収数	回収率
住民・道路利用者	広報誌差し込み配布 (回答はがきを2枚添付)	10,340世帯 (20,680票)※	1,920世帯【うちWeb回答:421世帯】 (2,797票【うちWeb回答:449票】)※	約19%
	留置き	—	206票	—
	Web	—	303票	—
	合計	—	3,306票	—
事業者	郵送配布	242社	93社【うちWeb回答:34社】	約38%
	Web	—	9社	—
	合計	—	102社	—

※()内は1枚目・2枚目を合計した数

2-3. 第1回地域の意見聴取の実施内容(アンケート調査票・はがき)

◆ 調査票に季節別の回答欄を設けることで「冬期」と「冬期以外」での課題を把握。

■ 地域意見聴取内容

- [回答者属性] 年齢、職業、性別(任意)、住所、運転免許の有無
- [問1] 対象区間の利用状況(目的、手段、頻度)
- [問2] 対象区間の課題について
- [問3] その他意見・要望

<調査票 表面>

みなさまのご意見をお聞かせください!

おぼない そつだ
盛岡秋田道路 (生保内～卒田)

全3問
(約4分程度)

道路計画に関するアンケート

<はがき回答票 表面>

はがき回答票 地域のみならず

季節別の回答に変更

設問変更

**A. 急カーブや急勾配が多く、線形が悪い。
⇒速度低下や事故が多発している。**

**B. 事故・災害により通行止めが発生してる。
⇒通行止めにより広域迂回が発生している。**

<はがき回答票 裏面>

アンケート回答例

アンケート返信方法

① 郵便ポストに投函

② 回収ボックスに投函

アンケートのご回答は
令和6年1月10日(水)
までお願いいたします。

アンケート対象区間

対象区間の道路についてご意見をお聞かせ下さい。

道路凡例

高規格道路
一般国道
4車線
2車線

郵便はがき

0108790

はがき回答票 裏面

季節別の回答に変更

その他対象区間に関するご意見がございましたら、ご自由に記載してください。

郵便はがき

0108790

郵便はがき

0108790

あなたについてお聞かせください

年齢

職業

住所

運転免許

盛岡秋田道路(生保内～卒田)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードか、「秋田河川国道事務所」で検索し、右記のバーナーからアクセスしてください。

秋田河川国道事務所

盛岡秋田道路(生保内～卒田)ご意見募集

お問い合わせ 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 調査課

TEL 018-864-2289

Email thr-751tyousadainika@ki.mlit.go.jp

◆対象地域の課題について、わかりやすい表現に修正。

<調査票 裏面>

アルファベット表記に統一

盛岡秋田道路 (生保内～卒田)

の課題をA～Eのとおり考えました。

A 円滑・安全な交通に支障

- 急カーブ・急勾配箇所では、速度低下が発生し、冬期はさらに約2割低下しています。
- 通常期は沿道出入口で追突事故が多発し、冬期は急カーブ・急勾配箇所正面衝突が多発しています。

⇒急カーブ・急勾配箇所が多く、走行性・安全性が低下しています。



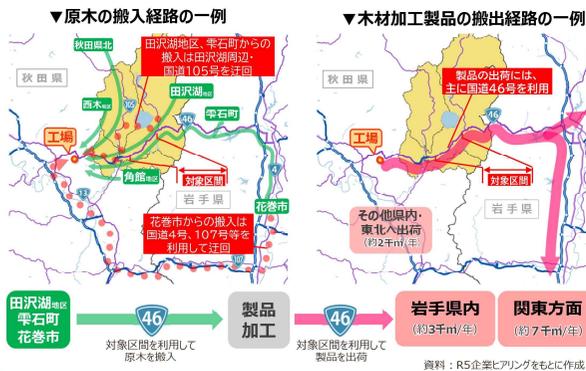
B 信頼性の低い道路ネットワーク

- 大雪時に集中的に除雪を行う区間や、浸水想定区域※が箇所が存在し、通行止めリスクがあります。
 - 災害や事故の発生時には長時間の通行止めが発生しています。
- ⇒災害・事故に弱く、幹線道路としての信頼性が低下しています。



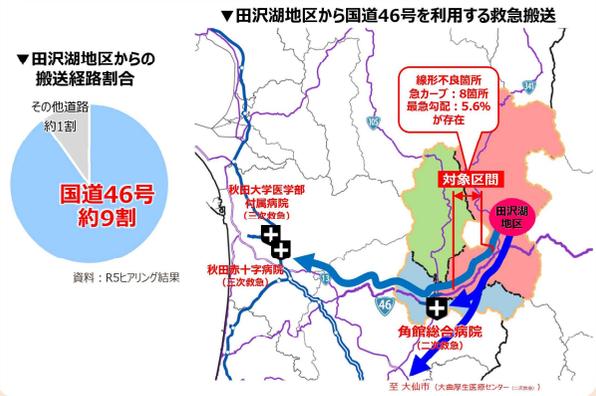
C 不安定な物流ネットワーク

- 急カーブ・急勾配箇所で荷崩れが発生し、製品の品質が低下しています。
- 通行止め時には周辺に迂回路が無い場合、広域迂回する必要があります。⇒安定した物流輸送に支障が生じています。



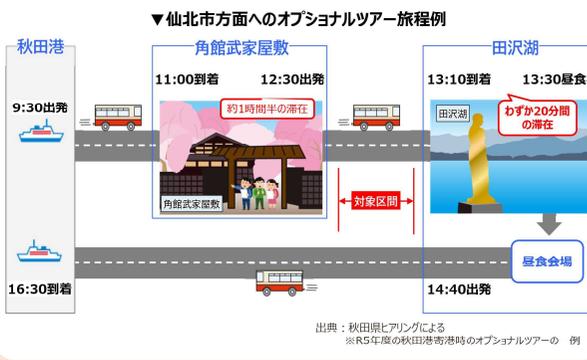
D 不安定な救急搬送ルート

- 急カーブが連続するため、救急搬送時に横揺れが発生しています。
 - 冬期は、堆雪の影響で搬送に時間が掛かっています。
- ⇒円滑な救急搬送の支障になっています。



E 周遊観光の連絡性が不十分

- 秋田港へ寄港したクルーズ船から、オプションツアーとして仙北市を訪れる際には、国道46号を利用しています。
 - 移動時間がかかるため、滞在時間が短くなっています。
- ⇒余裕を持ったツアー開催に支障が生じています。



2-3.第1回地域の意見聴取の実施内容(アンケート調査)

◆アンケート調査は、地域住民への調査票の配布、留置き、Webでのアンケート、道の駅でのオープンハウスを実施。

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

調査対象者		調査方法・規模
地域住民	・仙北市	・広報誌への同封による全戸配布 10,340世帯
道路利用者	・仙北市、大仙市、秋田市、 雫石町、滝沢市、盛岡市	・Webアンケート ・留置き（以下の21箇所）
事業者等	・対象区間の利用企業及び周辺立地企業 秋田・岩手県内（仙北市、大仙市、 秋田市、盛岡市、矢巾町等）	・郵送配布、郵送回収 242社

【写真1】回収はがき



【図2】Webアンケート

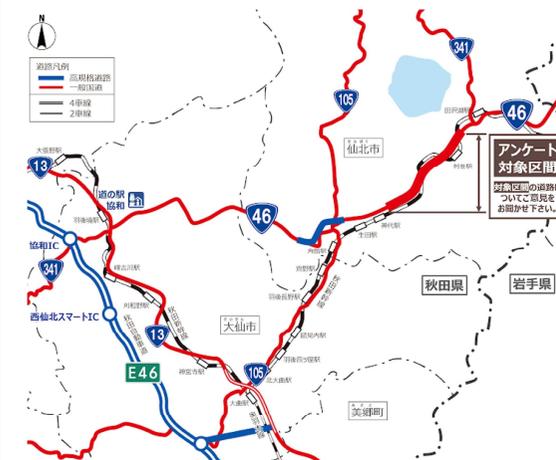
盛岡秋田道路（生保内～卒田）道路計画検討に関する第1回アンケート調査【地域のみなさま用】

盛岡秋田道路（生保内～卒田）の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

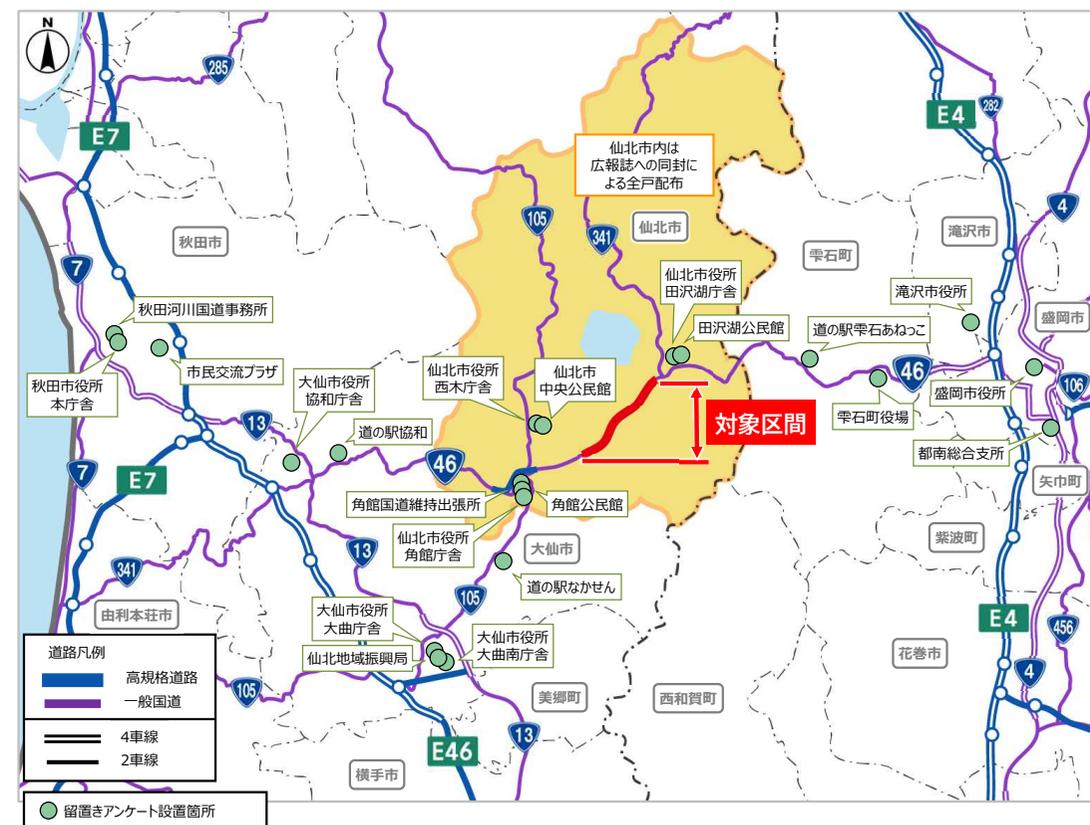
※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。

（法令により開示を求められた場合を除きます。）

アンケート対象区間



【図1】留置きアンケート設置箇所



【写真2】周知ポスター



【写真4】道の駅でのオープンハウス



実施日：令和5年12月8日(金)
 ・道の駅「協和」…14名に配布
 ・道の駅「雫石あねっこ」…8名に配布
 ※実施日のうちそれぞれ2時間での実施

【写真3】留置きアンケート設置状況



2-3.第1回地域の意見聴取の実施内容(ヒアリング調査)

◆沿線自治体等の関係団体（40団体）に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査（郵送・電話・訪問調査）を実施。

■地域意見聴取内容

- ・対象区間の利用状況について
- ・対象区間の課題について
- ・その他意見・要望

【表1】ヒアリング調査の対象（関係自治体）

分野	数	所在地	対象名
秋田県	2	秋田市	秋田県庁
		大仙市	仙北地域振興局
自治体	1	仙北市	仙北市役所

【参考】ヒアリング対象企業抽出の視点

ヒアリング調査対象	抽出の視点
関係自治体	対象区間の自治体及び秋田県
農業関連団体 製造業者 商工会議所 観光協会	経済活動を統括する関係団体及び事業者
消防機関 医療機関 警察機関	地域内の生活を支援する関係団体及び事業者
トラック協会 バス協会 バス事業者 物流業者 小売業者 道の駅	地域内の物流・人流を担う関係団体及び事業者
教育機関	対象区間付近に位置する学校

【表2】ヒアリング調査の対象（関係団体、事業者）

分類	数	企業・団体名	所在地
農業関連団体	1	JA秋田おぼこ	大仙市
製造業者	8	(株)角館芝浦電子	仙北市
		(株)東北芝浦電子	仙北市
		日東光器(株)田沢湖工場	仙北市
		新北菱林産(株)田沢湖工場	仙北市
		(株)安藤醸造	仙北市
		匿名企業（3社）	仙北市
商工会議所	1	秋田県県南の商工会議所	仙北市
観光協会	2	田沢湖角館観光協会	仙北市
		しずくいし観光協会	雫石市
消防機関	1	大曲仙北広域市町村圏組合 角館消防署田沢湖分署	仙北市
医療機関	1	市立角館総合病院	仙北市
教育機関	1	秋田県立角館高等学校	仙北市
警察機関	1	仙北警察署	仙北市
トラック協会	1	秋田県トラック協会	秋田市
バス協会	1	秋田県バス協会	秋田市
バス事業者	7	(株)工藤興業	秋田市
		能代観光(株)	能代市
		第一観光バス(株)	能代市
		秋田観光バス(株)	男鹿市
		(株)仙建	大仙市
		ロイヤル交通(株)	仙北市
		匿名企業（1社）	秋田市
物流業者	8	能代運輸(株)秋田港事業所	秋田市
		秋田運送(株)外貿事業所	秋田市
		六郷小型貨物自動車運送(株)	美郷町
		匿名企業（2社）	秋田市
		匿名企業（2社）	仙北市
		匿名企業（1社）	岩手県
小売業者	1	グランマート田沢湖店	仙北市
道の駅	3	道の駅 協和	大仙市
		道の駅 なかせん	大仙市
		道の駅 雫石あねっこ	岩手県

【写真1】ヒアリング実施状況

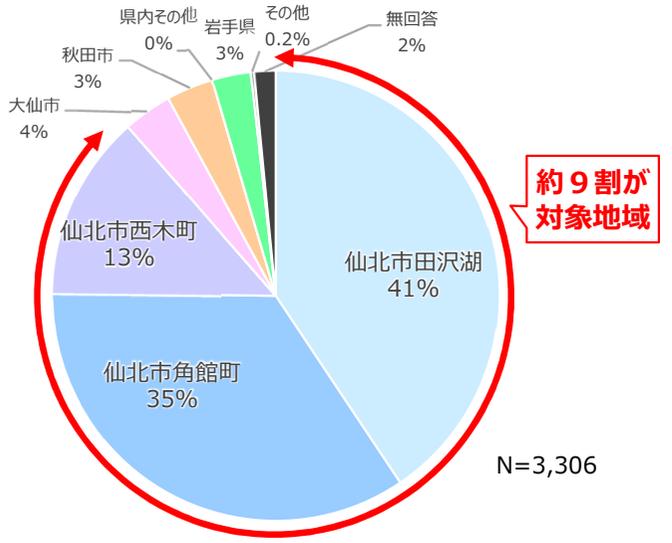


2-4.住民等への意見聴取の結果(属性①)

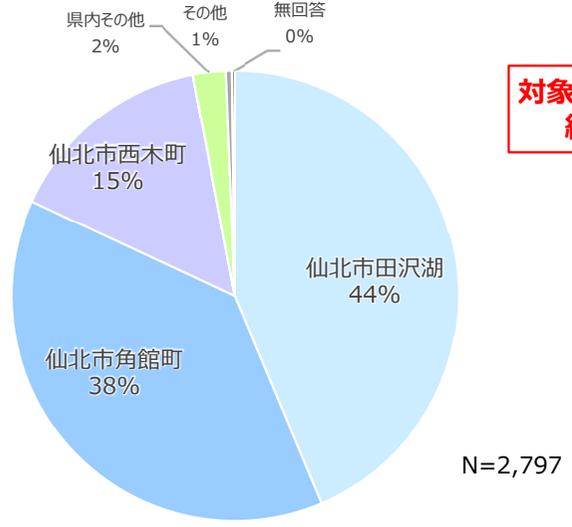
- ◆アンケート結果は、約9割がアンケート調査対象地域からの回答であった。
- ◆留置きやWebでは、対象地域外からの回答割合が約6割を占めている。

あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:地域区分)

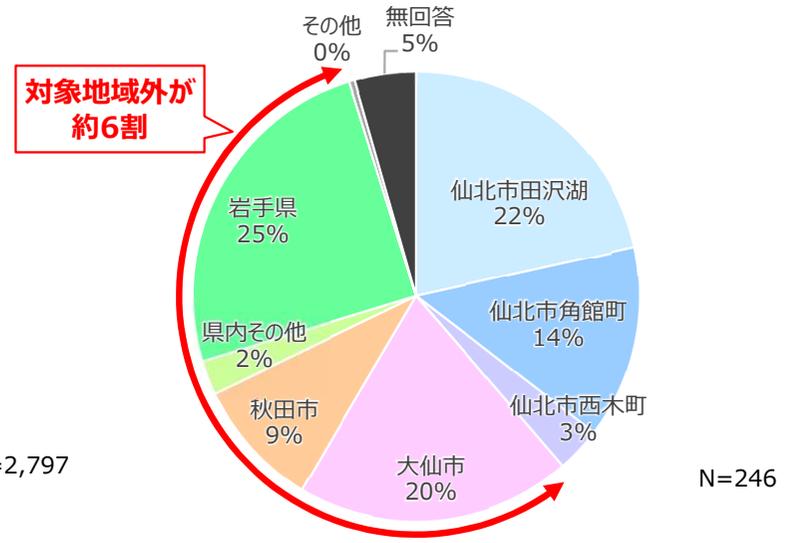
【図1】回答者居住地分布



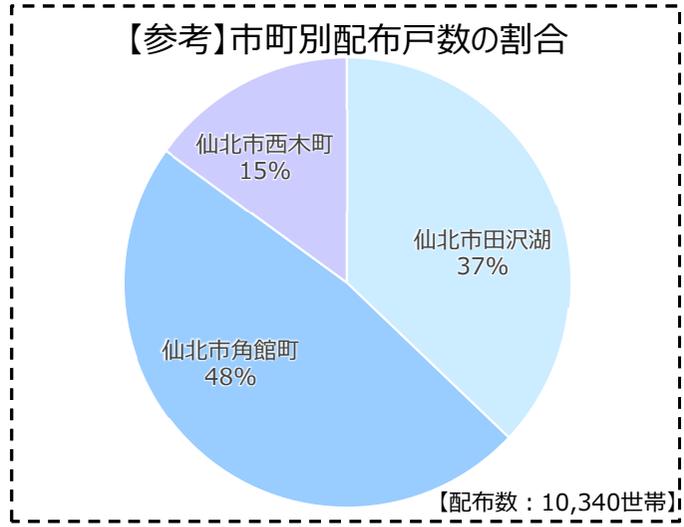
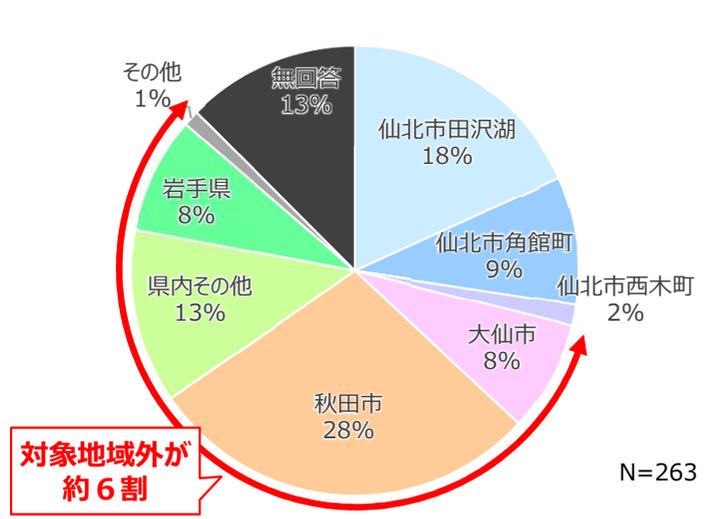
【図2】回答者居住地分布 (郵送)



【図3】回答者居住地分布 (留置き)



【図4】回答者居住地分布 (Webアンケート)



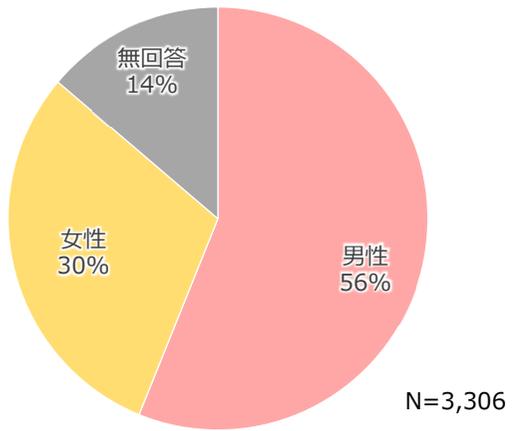
2-4.住民等への意見聴取の結果(属性②)

- ◆アンケート結果について、年齢別回答率は60代以下が約7割を占めている。
- ◆職業別回答率では、就業者の割合がアンケート調査対象地域の統計データと概ね整合した結果となった。

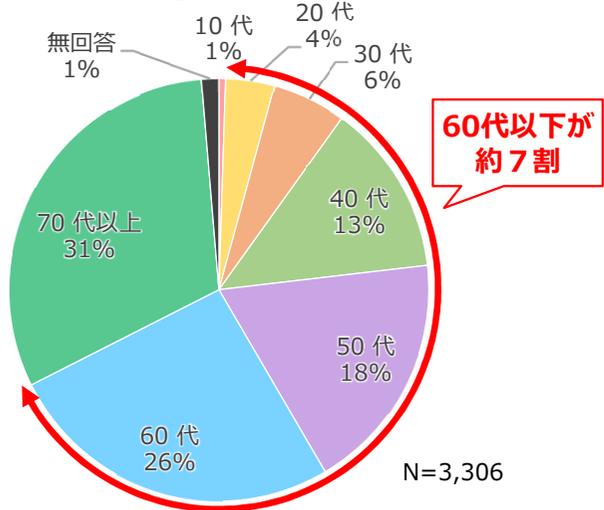
あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:性別、年齢、職業)

アンケート結果

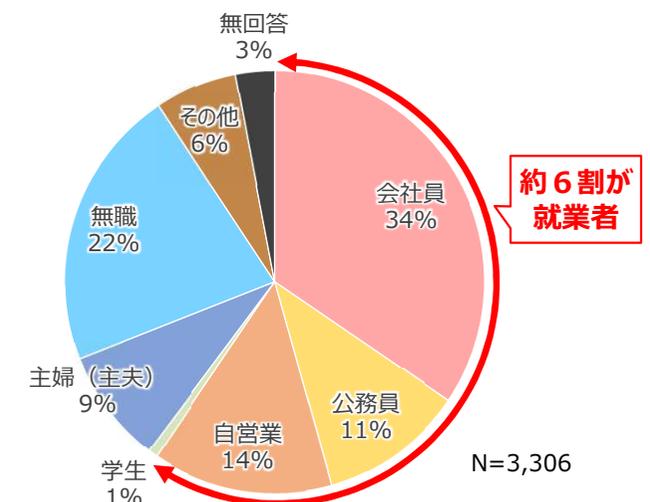
【図1】性別



【図2】年齢

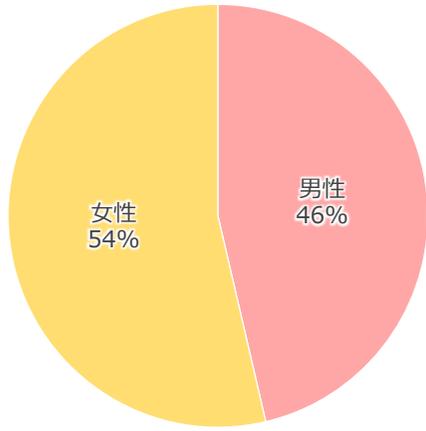


【図3】職業

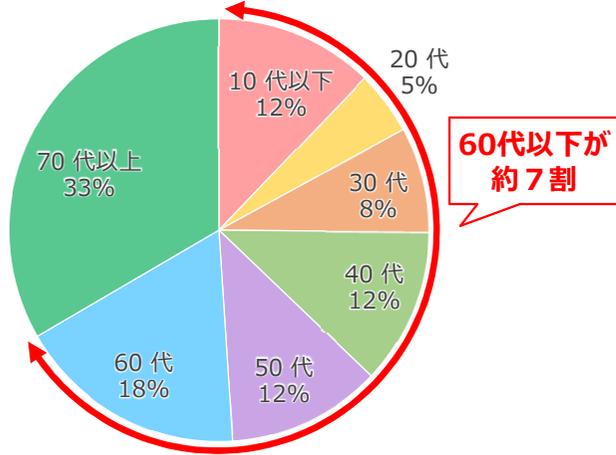


「参考」対象地域の統計データ

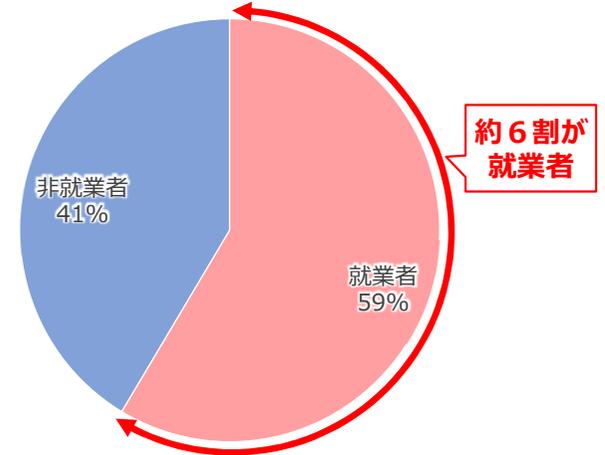
【参考図1】性別



【参考図2】年齢



【参考図3】就業率※



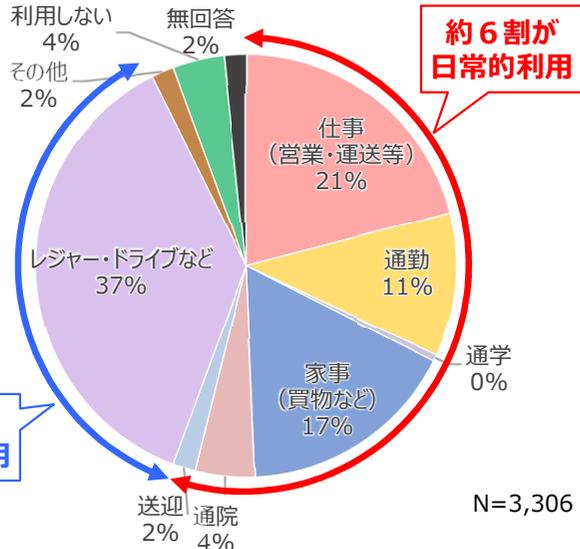
出典：R2国勢調査 ※対象地域：仙北市 ※就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

2-4.住民等への意見聴取の結果(道路利用)

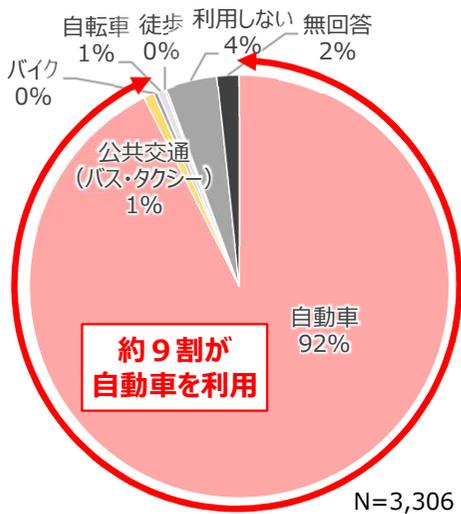
- ◆利用目的は日常的利用が約6割を占めている。利用手段は「自動車」が約9割を占めている。
- ◆利用頻度は週1回以上が約5割を占め、自治体別の利用頻度では仙北市田沢湖地区において週1回以上が約8割を占めている。
- ◆利用目的別では、「仕事(営業・運送等)」、「通勤」、「通学」、「家事(買物など)」、「通院」、「送迎」での利用割合が高い。

質問① 国道46号(生保内～卒田間)の道路利用についてお聞きします。

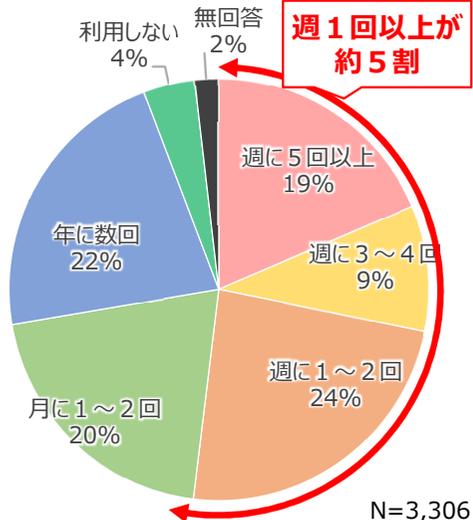
【図1】利用目的



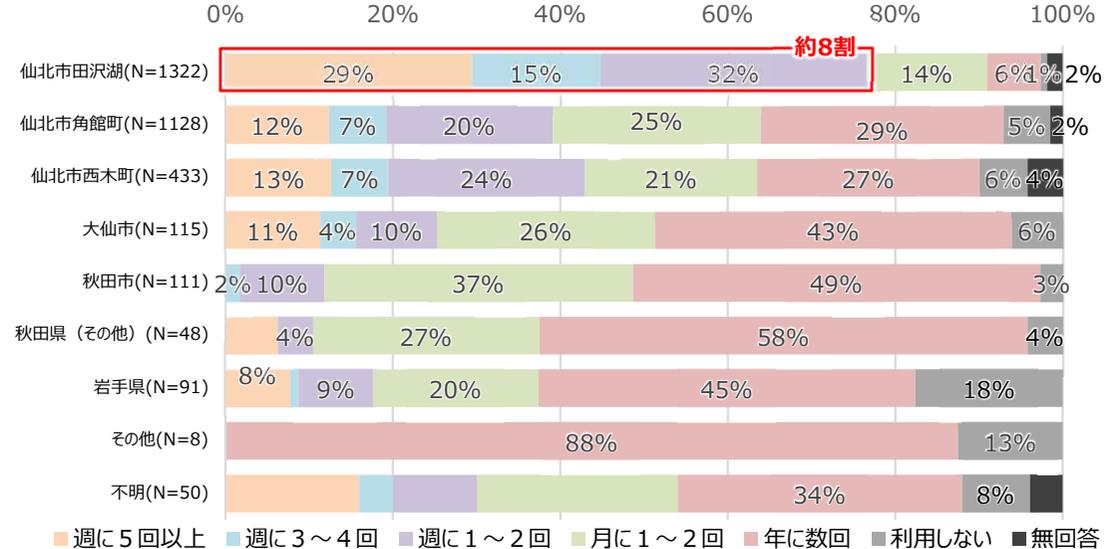
【図2】利用手段



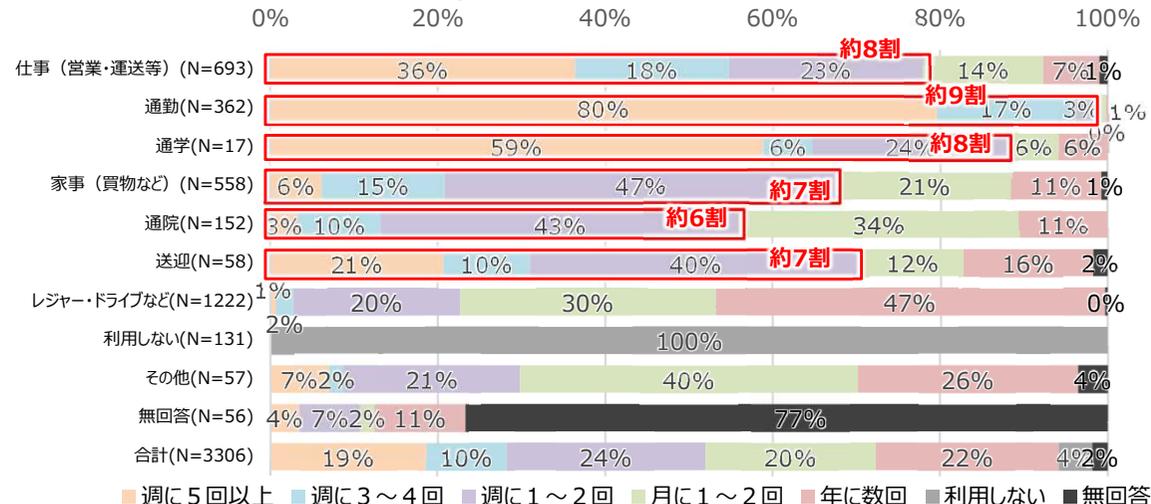
【図3】利用頻度



【図4】利用頻度(自治体別)



【図5】利用頻度(利用目的別)



2-4.住民等への意見聴取の結果(地域課題①)

- ◆冬期以外ではA～Eのいずれの項目でも約6割以上が課題を実感し、冬期はさらに課題を実感する人の割合が高い。
- ◆特に冬期の「速度低下や事故が多発している」については、約9割が課題を実感している。
- ◆利用頻度別集計では、利用頻度に関わらず課題を実感する人の割合が高い。

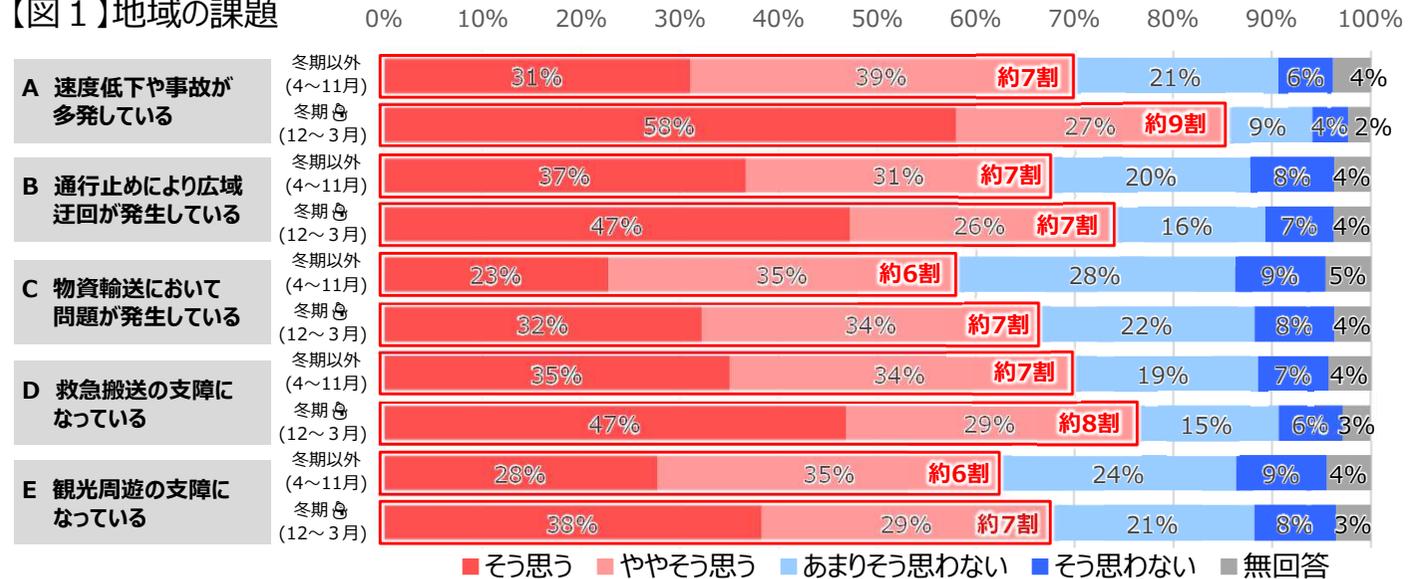
質問② 課題についてお聞きします。

・以下の各項目について、「そう思う」～「そう思わない」の各4段階で評価し、あてはまる番号1つに○を付けてください。

質問②-1 課題について(それぞれ冬期・冬期以外)

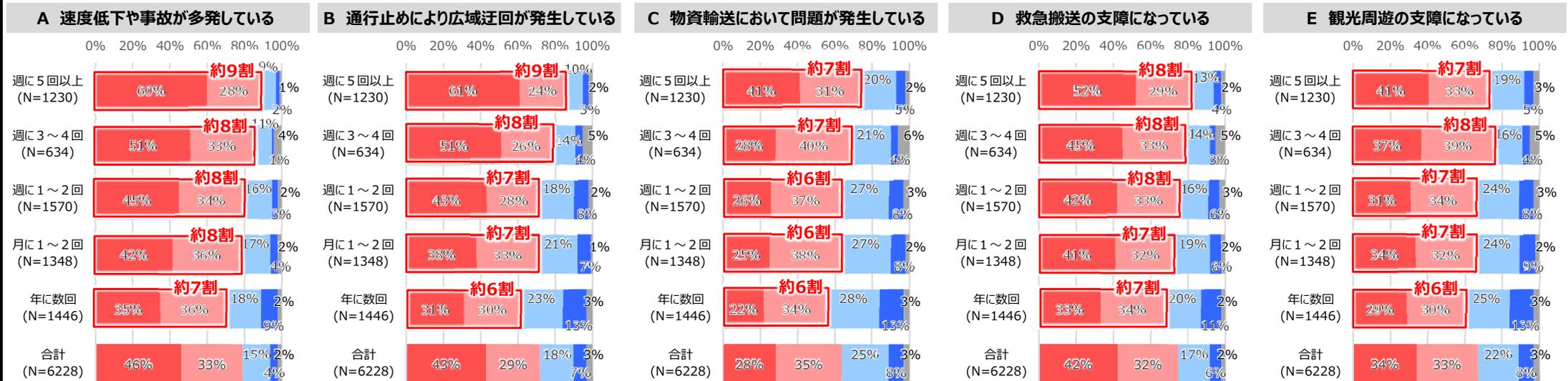
- A 速度低下や事故が多発している
- B 通行止めにより広域迂回が発生している
- C 物資輸送において問題が発生している
- D 救急搬送の支障になっている
- E 観光周遊の支障になっている

【図1】地域の課題



【図2】利用頻度別集計

回答者数 N=3,306



回答者数 N=6,228 (「利用頻度」に対する回答で利用しない・無回答を除く、冬期・冬期以外の回答を合計して集計)

2-4.住民等への意見聴取の結果(地域課題②)

- ◆自由意見では「交通環境(事故)」に係る意見が最も多く、約5割を占めており、「沿道出入り箇所やカーブでのヒヤリハット」、「冬期間の積雪や路面凍結のため急カーブや急勾配でのヒヤリハットが多い」等の意見をいただいた。
- ◆次いで意見の多かった「防災」については、「迂回路が無いことへの不安」等の意見をいただいた。

質問②-2 提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

【表1】課題に対する自由意見

分類 ()内は冬期意見数		主な意見	
地域課題 【1,238件】 (159件)	交通環境	(走行性) 【158件】 (9件)	【通年】 ・ カーブが多く時間が掛かり 疲れる。
			【冬期】 ・ 急カーブや急勾配が多く、特に冬期は精神的負担が大きい。 ・ 速度低下 (特に冬) によって朝早くの用事があると1日のスケジュールに支障をきたす。
		(事故) 【602件】 (119件)	【通年】 ・ カーブ等の見通しが悪い場所で 民家や横道から出てこようとする車でヒヤリとすることが多々ある。
			【冬期】 ・ 冬期間の積雪や路面凍結のため急カーブや急勾配でのヒヤリハットが多い。
	防災 【356件】(21件)	【通年】 ・ 災害事故発生時に 迂回路が無いというのが不安。	
		【冬期】 ・ 冬期スタック車が発生した場合、迂回経路が無い。 ・ 通行止めになると田沢湖畔線を迂回するしか無いが、道路幅が狭く特に冬期間は圧雪になっているので大変危険な状態 となる。	
	産業・物流 【57件】(7件)	【通年】 ・ 国道46号が通行止めになると、盛岡からの 物流が長時間止まる ため、コンビニなどに商品が届かなくなるなど 痛手 となる。	
		【冬期】 ・ 交通事故を含め落雪により道路が閉鎖され、 迂回を強いられ物流を含めた支障をきたす場面 に遭遇した。	
	医療 【30件】(1件)	【通年】 ・ 昨今豪雨被害が多くなっているため 緊急搬送が必要な場合の支障 になると思っている。 ・ 通行止めが起こると 通院の約束時間に間に合わなく困る 時がある。	
		【冬期】 ・ 降雪が多い時期は 受診の時間に間に合わない ことがある。	
	観光 【35件】(2件)	【通年】 ・ 急カーブなどが多く 周遊観光に支障 が出ている。 ・ 追い越し区間が少なく 所用時間に大きな違いが出るため周遊観光の計画が立てにくい。	
		【冬期】 ・ 特に冬期の走行が不安。盛岡から秋田ヘレジャーで訪れる際に、 雪が降れば事故のリスクが高まるとともに移動時間の予測がつかない。	
その他 【366件】 (40件)	整備への要望 【201件】(19件)	【通年】 ・ 安定走行できる線形改良と幅員確保を望む。 ・ 秋田市と盛岡市を結ぶ唯一の重要幹線道路のため 早期整備を望む 。両市間の移動時間の短縮により両県の交流人口の増加による活性化と災害時の迅速かつ円滑な物流支援につながると感じている。	
		【冬期】 ・ 急カーブや急勾配が多いので特に冬期間安心して走行出来る道路を目指して欲しい。	
	その他 【165件】(21件)	【通年】 ・ 追い越しできる区間や登坂車線が少ない。 ・ 刺巻～卒田間に常時開設しているトイレが無い。	
	【冬期】 ・ 冬期間の凍結による道路のひび割れ、道路環境の悪化。		

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

2-4.住民等への意見聴取の結果(意見・要望)

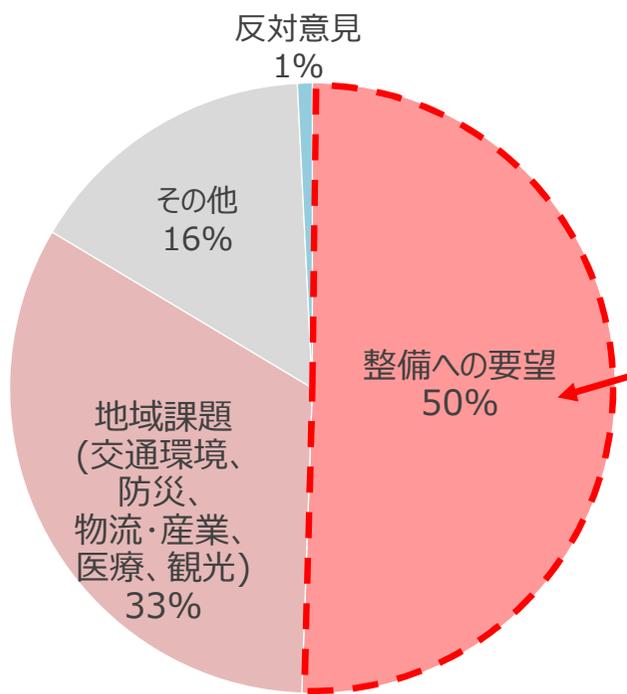
- ◆対象区間への意見について、提示した課題以外では、「整備への要望」に関する意見が約5割を占めている。
- ◆「整備への要望」については、「自動車専用道路の整備」、「安全性と時間短縮を兼ね備えた冬期でも安心して通行可能な道路の整備」、「岩手県とのアクセスを安定させて欲しい」等の意見をいただいた。

質問③ その他、対象区間について、ご意見ご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

【表1】その他自由意見

分類()内は冬期意見数		主な意見	
整備への要望 【633件】 (147件)	新規道路・拡幅等 【273件】 (26件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> トラックなどの大型車と観光客や地元の方が走る車を分けることができれば、安心して国道46号を利用できると思う。 バイパスや高規格の自動車専用道路の整備を強く要望します。 道幅も狭いので安全な道路線形での改良をお願いします。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 道路が雪により狭くなり、カーブも多く危険性が増しているため、安全性と時間短縮を兼ね備えた、安心して通行できる道路整備をお願いします。 冬期は急カーブや急勾配箇所での危険性を感じるため、直線区間が長い道路整備をお願いしたい。
	その他 【360件】 (121件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 登坂車線や思いやり車線等、追い越し可能な区間を増やしてほしい。 この路線整備を進めて仙岩峠の整備へと繋げて岩手県とのアクセスを安定させて欲しい。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期はあまり利用したくない道路の一つ。盛岡方面に行くためにはこの道路を利用する必要があるため利用せざるを得ない状況。対策をお願いしたい。
反対意見 【10件】(0件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少により新しい道路は必要と思われない。 	
その他 【196件】(38件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全な通行に必要な事とは思われるものの、事故等の迂回が出来る範囲での新しい道路整備計画は良いと思うが、人口減等により、利便性の良い道路計画事業が良いのかは、疑問に思う事もある。 国全体として修繕必要なインフラが続出している。国道、県道、市道の別なく予算配備して緊急性のあるものから解決してもらいたい。 	
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期は除雪回数を増やし、スタック車発生や除雪通行止めの場合には速やかにSNS等で発信し、迂回道路に流すようにして欲しい。 	

【図1】自由意見の回答内訳 (1,252件)



※地域課題 (交通環境、防災、産業・物流、医療、観光) の意見数 : 413件 (うち冬期 : 136件)

※地域課題3項目以外の意見数 : 839件 (うち冬期 : 186件)

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

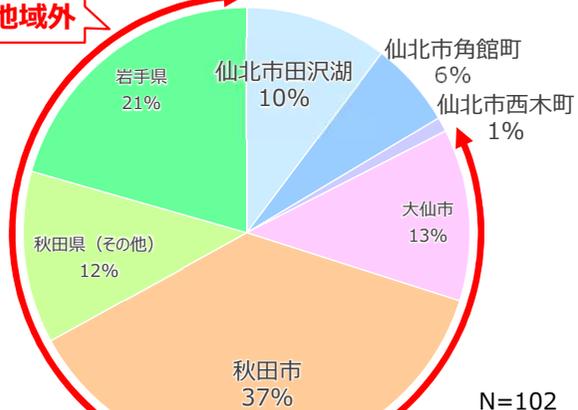
2-5.事業者への意見聴取の結果(属性・道路利用)

◆アンケート結果は、約8割が調査対象地域外からの回答。「運輸業」、「卸売業」、「製造業」からの回答が約8割を占めている。
 ◆利用目的別では、「運送・運搬」が約6割を占めており、その利用頻度は週1回以上が約9割を占めている。

貴事務所についてお聞かせください。

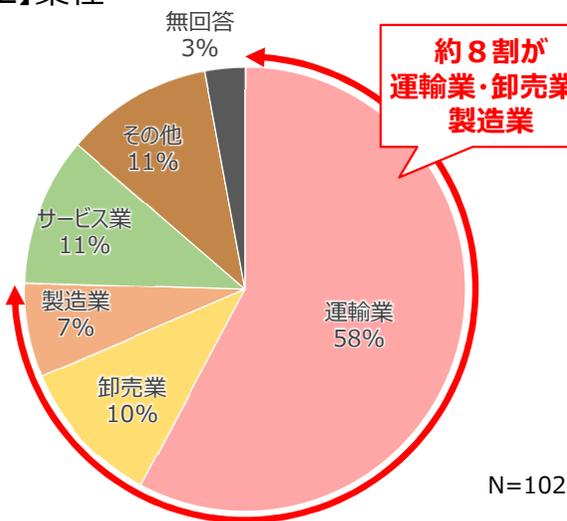
【図1】所在地

約8割が対象地域外



【図2】業種

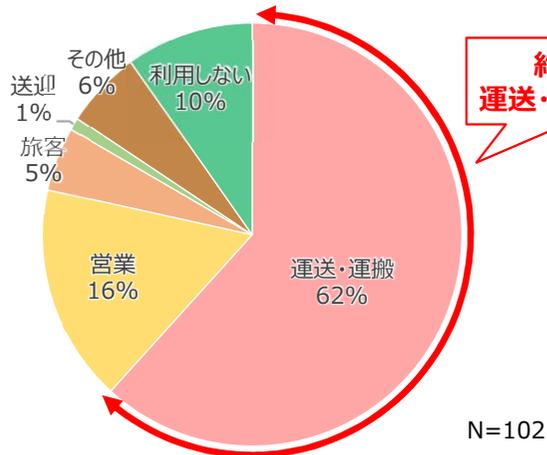
約8割が運輸業・卸売業・製造業



質問① 国道46号(生保内～卒田間)の道路利用についてお聞きします。

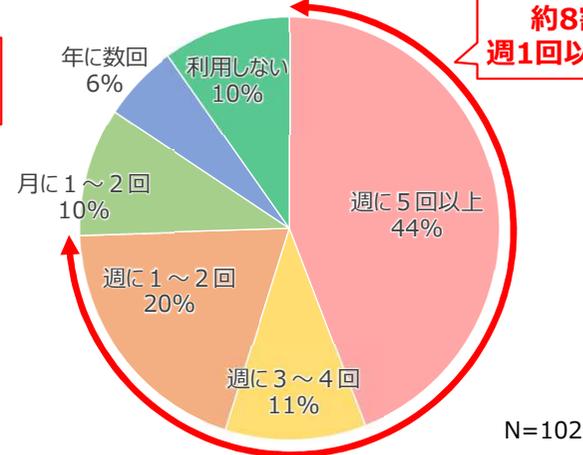
【図3】利用目的

約6割が運送・運搬で利用

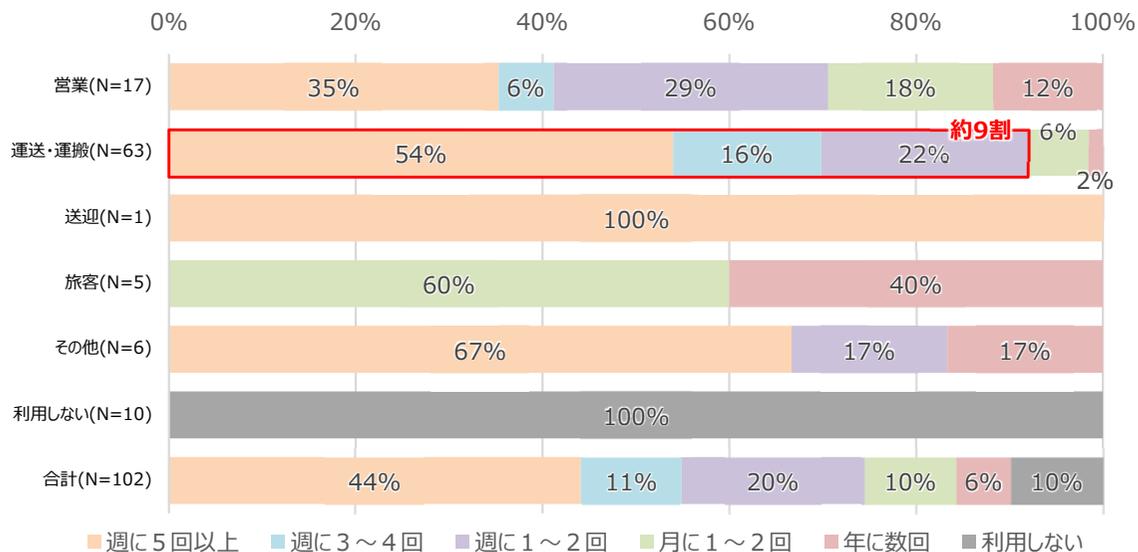


【図4】利用頻度

約8割が週1回以上利用



【図5】利用頻度(利用目的別)



2-5.事業者への意見聴取の結果(地域課題)

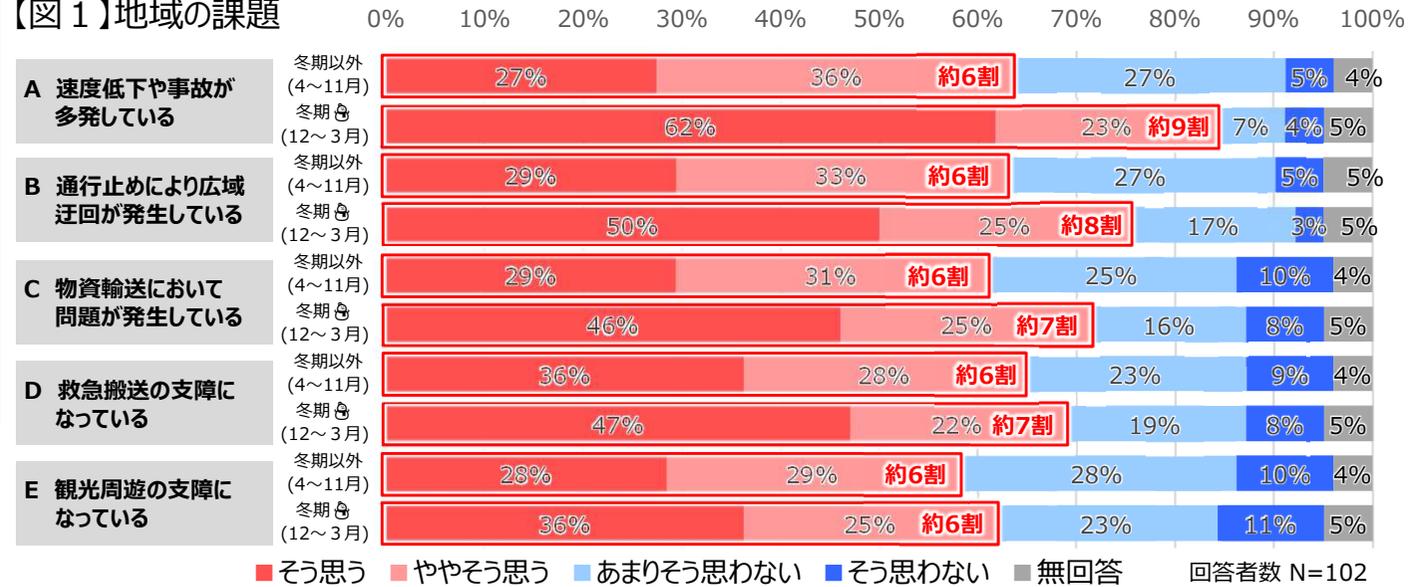
- ◆冬期以外ではA～Eのいずれの項目でも約6割以上が課題を実感し、冬期はさらに課題を実感する人の割合が高い。
- ◆特に冬期の「速度低下や事故が多発している」については、約9割が課題を実感している。
- ◆利用頻度別集計では、「速度低下や事故が多発している」、「通行止めにより広域迂回が発生している」において、利用頻度に関わらず課題を実感する人の割合が高い。

質問② 課題についてお聞きします。
 ・以下の各項目について、「そう思う」～「そう思わない」の各4段階で評価し、あてはまる番号1つに○を付けてください。

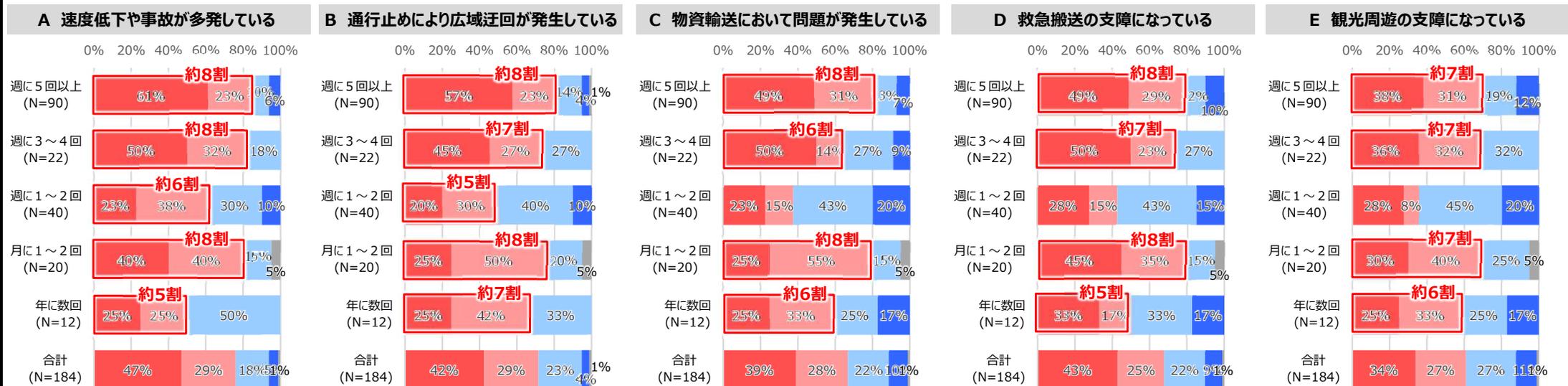
質問②-1 課題について(それぞれ冬期・冬期以外)

- A 速度低下や事故が多発している
- B 通行止めにより広域迂回が発生している
- C 物資輸送において問題が発生している
- D 救急搬送の支障になっている
- E 観光周遊の支障になっている

【図1】地域の課題



【図2】利用頻度別集計



回答者数 N=184 (「利用頻度」に対する回答で利用しない・無回答を除く、冬期・冬期以外の回答を合計して集計)

2-5.事業者への意見聴取の結果(地域課題)

- ◆自由意見では「交通環境(事故)」に係る意見が最も多く、約4割を占めており、「民家が多く並んでおり小道から出てくる乗用車に危険を感じる」、「急カーブや坂道など冬期は速度を落としても危険を感じる」等の意見をいただいた。
- ◆次いで意見の多かった「防災」については、「迂回路が無い」、「通行止め時の広域迂回」等の意見をいただいた。

質問②-2 提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

【表1】課題に対する自由意見

分類 ()内は冬期意見数		主な意見	
地域課題 【69件】 (9件)	交通環境	(走行性) 【16件】 (3件)	【通年】 ・JR線路と交差する数か所で急カーブが多く、運転しづらい。 ・急カーブや急勾配が多い為、輸送時間がかかる。
			【冬期】 ・冬期間は雪が多くて走行時間がかかる。
		(事故) 【27件】 (5件)	【通年】 ・急カーブで対向車線側にはみ出してカーブする車が多く、正面衝突の恐怖を感じる事が多い。 ・民家が多く並んでおり小道から出てくる乗用車に危険を感じる事がある。
			【冬期】 ・急カーブや坂道など冬期は速度を落としても危険を感じる事がある。
	防災 【17件】(1件)	【通年】 ・トラックの迂回路が少ない状態であり課題である。 ・事故が発生すると岩手に向かうべきがない。	
		【冬期】 ・事故や冬の雪崩などで通行止めになるとかなり迂回しなければならない。	
	産業・物流 【9件】(0件)	【通年】 ・事故通行止めが起こると物資輸送の到着時間に間に合わなくなる。 ・事故が起きると迂回路もないので、スケジュール管理に支障をきたす。 ・物資輸送に遅延、延期などが起こると市民生活に影響する。	
	医療【0件】	【通年】 ・-	
	観光【0件】	【通年】 ・-	
	その他 【17件】 (1件)	整備への要望 【6件】(0件)	【通年】 ・急なカーブが多く緩和して欲しい。 ・大きな車を使用する事が多いので道が広いと助かる。 ・バイパスを作ることで、秋田～盛岡間の移動時間短縮になる。 ・全体的には仕事関係や観光利用が多いと感じており、限られた時間で移動したいと思う方が多数と思う一方、高齢運転者が増加しているの でゆずり車線など増えると良いのではと思う。
【冬期】 ・急カーブ急勾配が多いので冬期の除雪をしっかりともらいたい。			
その他 【11件】(1件)		【通年】 ・夏冬通して悪天候に弱い印象がある。	

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

2-5.事業者への意見聴取の結果(意見・要望)

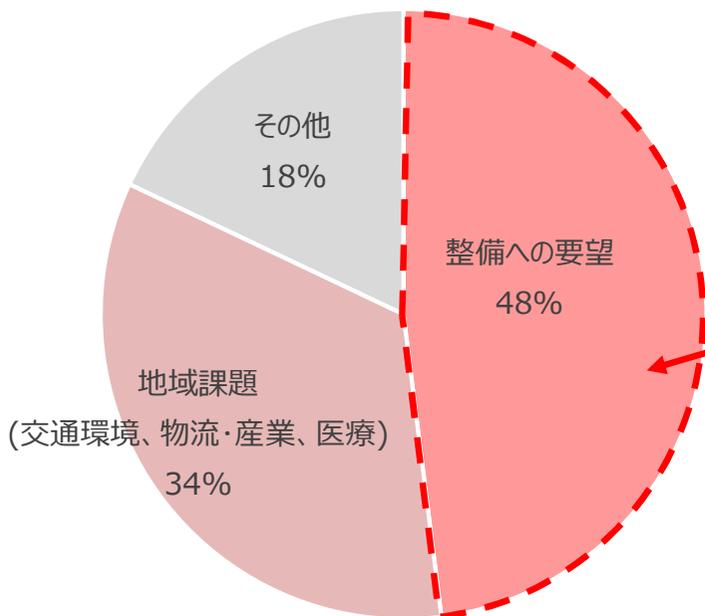
- ◆対象区間への意見について、提示した課題以外では、「整備への要望」に関する意見が約5割を占めている。
- ◆「整備への要望」については、「バイパス整備・道路拡張して欲しい・高規格道路で計画してほしい」、「雪道走行は非常に危険を感じるため、道路を良くしてもらいたい」等の意見をいただいた。

質問③ その他、対象区間について、ご意見ご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

【表1】その他自由意見

分類()内は冬期意見数		主な意見	
整備への要望 【24件】 (12件)	新規道路・拡幅等 【8件】 (2件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 車線を増やしたりバイパス等が出来れば助かる。 事故の危険性を感じるので道路拡張してほしい。 冬期に限らず、事故が多い路線に思われる。事故の無い、皆が安心して通行できる道路に期待したい。 二桁国道で国直轄であるのに、他県と比較して整備が遅れていると感じる。高規格道路で計画してほしい。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期は特に事故の危険性を感じるし通行止め時の迂回路も確保できない事から、誰もが安心して通行できる道路整備をお願いしたい。
その他 【16件】 (10件)	その他 【16件】 (10件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 全般的に道幅が狭く感じる。道路状態も良くない。登坂車線箇所を多くしてほしい。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 雪道走行は非常に危険を感じるため、道路を良くしてもらいたい。 道路計画が早期に整備できれば、多方面からの利用者が増加し、県内のメリットが多くなり、冬期間の事故の減少にも繋がると思う。
その他 【9件】 (4件)	その他 【9件】 (4件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> コンビニやパーキングがない。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 除雪作業を充実させてほしい。

【図1】自由意見の回答内訳 (50件)



※地域課題 (交通環境、物流、産業、医療) の意見数 : 17件 (うち冬期 : 7件)
 ※地域課題3項目以外の意見数 : 33件 (うち冬期 : 16件)
 ※反対意見は無し

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

2-6.関係団体ヒアリングの結果

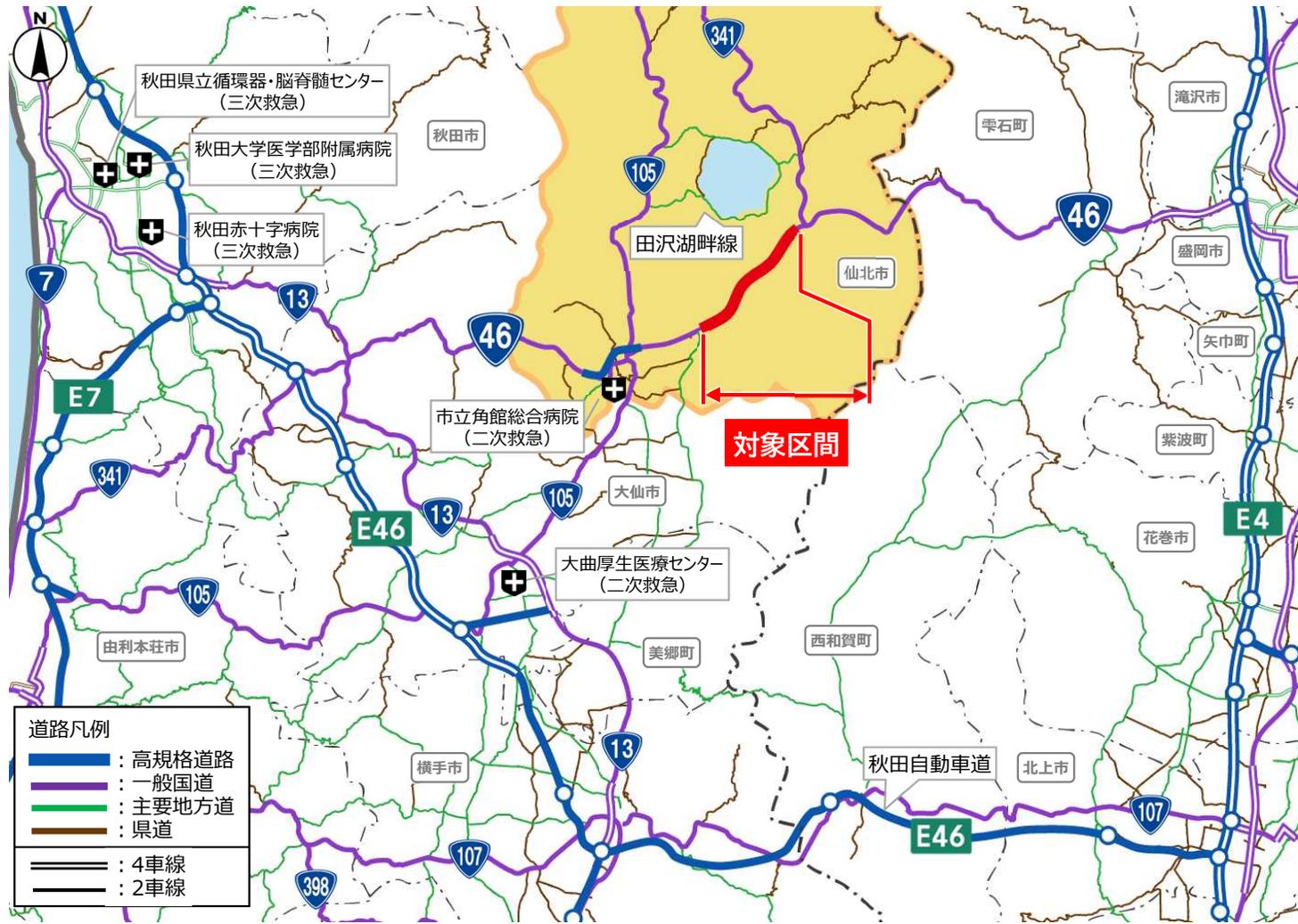
- ◆交通環境については、沿道出入り箇所における危険性や速度低下、積雪時の速度低下等の意見があった。
- ◆防災については、通行止め時に迂回路が無いことによる支障等の意見があった。
- ◆産業・物流については、冬期道路環境の悪化による雇用拡大の支障等の意見があった。
- ◆医療については、急カーブや急勾配での運転操作への注意や冬期積雪時の速度低下等の意見があった。
- ◆観光については、道路環境が悪いことによる来訪者減少への懸念や冬期道路環境悪化に伴う行動意識の妨げ等の意見があった。

【表1】関係機関意見（回答団体数40団体）

分類		主な意見		
地域課題	交通環境	走行性	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入りする車両により速度低下が発生している。（自治体） ・ カーブが多い上に幅員が狭くなるため運転しづらい。（物流業者）
			【冬期】	・ 急カーブが多く降雪時はより慎重な運転が必要なため、移動に時間を要す 。（農業関連団体）
		事故	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道出入り箇所で事故の危険性がある。（自治体） ・ カーブ区間で対向車（特に大型車）と衝突しそうになる時があり危険。（自治体・教育機関）
			【冬期】	・ 積雪や凍結の影響で速度低下 するほか 事故が多発 し全面通行止めとなる場合もある。（商工会議所）
	防災	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤通学時に通行止めになると迂回路がないため出社や登校、病院等の予約時間に間に合わないことがある。（商工会議所・教育機関） ・ 災害事故発生時に田沢湖畔線は幅員が狭く危険なため、基本的に秋田自動車道を迂回する。高速料金は自社負担となる。（物流業者） 	
		【冬期】	・ 大雪の際のスリップ事故やスタックによる通行止め が多い。（製造業者）	
	産業・物流	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道46号はカーブが多いため、荷崩れを起こし製品の破損や質の低下を引き起こす。（製造業者） ・ 搬入・搬出や従業員の通勤に影響するため、信頼性の高い迂回路が無いというのは怖い。（製造業者） ・ ジャストインタイムでの納品を目指しているが、通行止めにより出荷ができないとなると顧客先の製造にも影響が生じ、損失も大きい。（製造業者） ・ 資材搬入の際に、通行止めになると田沢湖方面が横手方面へ大きな迂回が生じる。（製造業者） 	
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雪等で通行止めとなった際は迂回路も通行できるような状況ではないため、出荷が遅延・停止する。（製造業者） ・ リクルート説明会にて、「国道46号の冬道が怖く、応募を悩んでいる」という声もあり、リクルートの支障になっている。（製造業者） 	
	医療	【通年】	・ 急カーブや急勾配などでは急ハンドル・急ブレーキとならないように注意 している。（消防機関）	
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳梗塞や脳出血を発症した場合、大曲厚生医療センターへ搬送。病院到着までの時間が生命やその後の後遺症の程度に大きく影響するが冬期は積雪等の影響で速度低下が発生し搬送時間が増加している。（医療機関） ・ 積雪の影響で幅員が狭くなることに加え、急カーブや急勾配では減速しながらの運転となるため搬送時間が長くなる。（消防機関） 	
	観光	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 怖い道というイメージがあるとお客さんの足が遠のくことが懸念される。道路が心のストッパーとならなければ良いと思う。（製造業者） ・ 急カーブが多く、速度を落としての走行となるのでツアー等の移動時間が長くなってしまう。（バス事業者） ・ 田沢湖周辺はクルーズ船乗客を始め、来県観光客の来訪地として有力な場所であり、当該箇所の整備は観光への効果も高いと感じることから、今後も継続的に整備を推進してもらいたい。（自治体） 	
		【冬期】	・ 冬期は道路状況が悪く 行動意識の妨げに繋がっている 。（商工会議所・観光協会）	
その他	整備への要望	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象区間の間にある地域を取り残さないような道路づくりをお願いしたい。（自治体） ・ 現道改良や現道拡幅ではなく、トンネルで通過するような抜本的な対策で、高速で走行できる道路が望ましい。（製造業者） 	
		【冬期】	・ 冬でも安心して走れる広くて新しい道路をぜひ作ってほしい 。（製造業者）	

2-7.第1回地域の意見聴取結果のとりまとめ

【図1】位置図



防災

- 災害事故発生時に田沢湖畔線は幅員が狭く危険なため、基本的に秋田自動車道を迂回する。
- 災害発生時に迂回路がないというのが不安。

産業・物流

- 国道46号はカーブが多いため、荷崩れを起こし製品の破損や質の低下を引き起こす。
- ジャストインタイムでの納品を目指しているが、通行止めにより出荷ができないとなると顧客先の製造にも影響が生じ、損失も発生する。
- 大雪等で通行止めとなった際は迂回路も通行できるような状況ではないため、出荷が遅延・停止する。
- リクルート説明会にて、「国道46号の冬道が怖く、応募を悩んでいる」という声があり、リクルートの支障になっている。

医療

- 急カーブや急勾配などでは急ハンドル・急ブレーキとにならないように注意している。
- 脳梗塞や脳出血を発症した場合、大曲厚生医療センターへの搬送。病院到着までの時間が生命やその後の後遺症の程度に大きく影響するが冬期は積雪等の影響で速度低下が発生し搬送時間が増加している。

観光

- 急カーブなどが多く周遊観光に支障が出ている。
- 怖い道というイメージがあるとお客さんの足が遠のくことが懸念される。
- 冬期は道路状況が悪く行動意識の妨げに繋がっている。
- 田沢湖周辺はクルーズ船乗客を始め、来県観光客の来訪地として有力な場所であり、当該箇所の整備は観光への効果も高いと感じている。

交通環境（走行性）

- 降雪時はより慎重な運転が必要なため、移動に時間を要している。
- 急カーブや急勾配が多く、特に冬期は精神的負担が大きい。
- 沿道から出入りする車両により速度低下が発生している。
- カーブが多い上に幅員が狭くなるため運転しづらい。

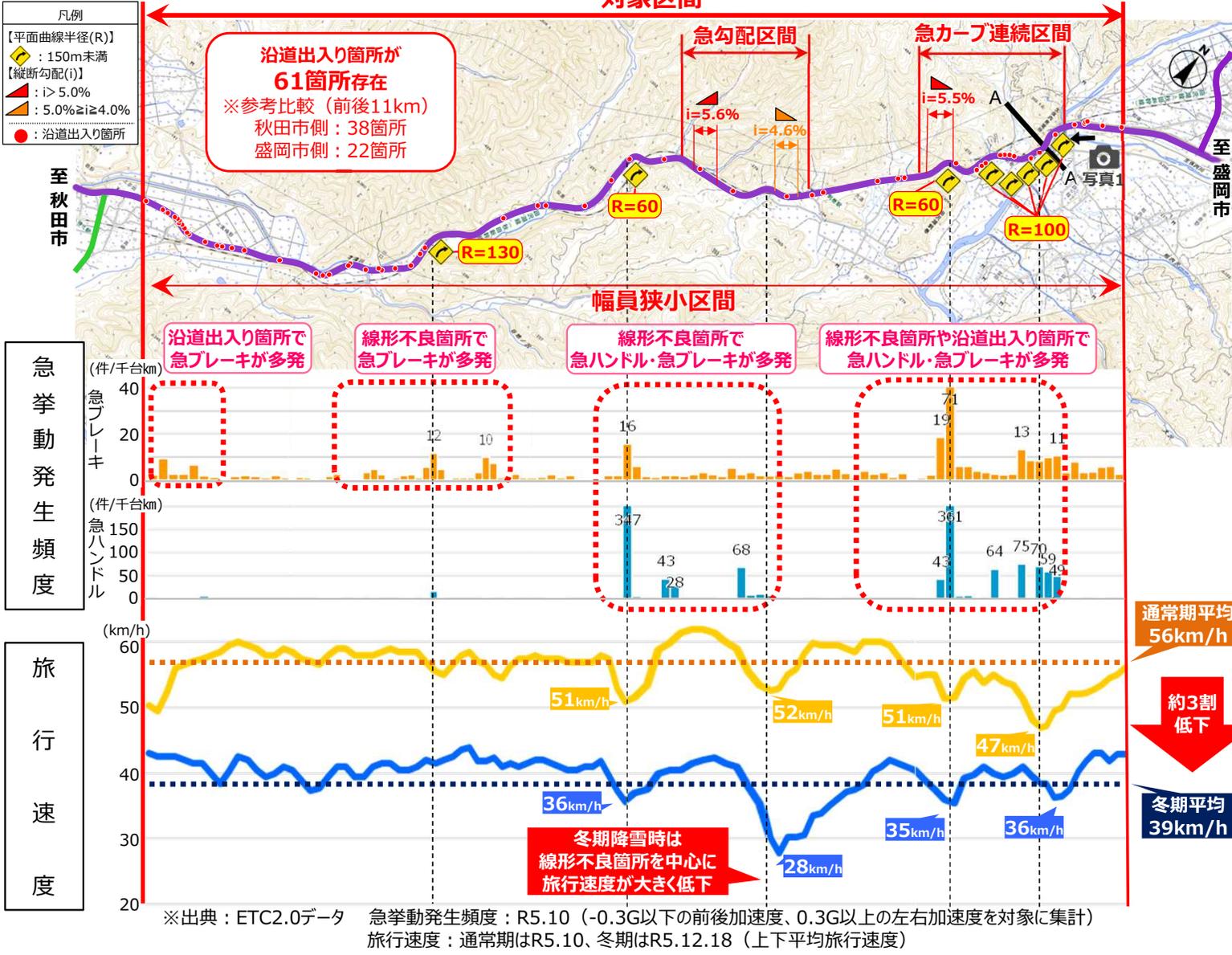
交通環境（事故）

- 沿道出入り箇所での事故の危険性がある。
- カーブ区間で対向車（特に大型車）と衝突しそうな時があり危険。
- 積雪や路面凍結のため急カーブや急勾配でのヒヤリハットが多い。

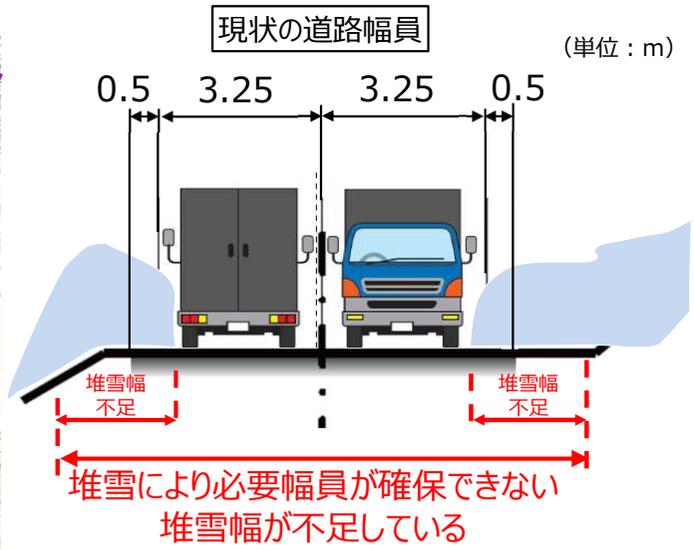
2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（交通環境(走行性)）

◆対象区間には、集落や農道等の沿道出入り箇所や急カーブ・急勾配区間が多数存在するため、急ハンドル・急ブレーキによる急挙動が多発する他、堆雪時には必要な幅員が確保されず速度低下が発生するなど、**利用者の精神的負担が増加**。
 ◆走行性の面では、**通年での円滑な交通環境の確保が課題**。

【図1】対象区間の急挙動発生頻度と旅行速度



【図2】当該区間の道路断面イメージ（A-A）



【写真1】狭幅員区間のすれ違い状況（冬期）



【企業・地域の声】

- 急カーブや急勾配が多く、特に**冬季間は精神的負担が大きい**。
- カーブが多い上に幅員が狭くなるため運転しづらい**。

(第1回意見聴取結果より)

2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理 (交通環境(事故))

- ◆急カーブ・急勾配区間では、急ハンドル・急ブレーキが多く、死傷事故及び物損事故が集中。
- ◆通常期は、沿道出入り箇所で追突事故の割合が多く、冬期は線形不良区間で正面衝突の割合が多い。
- ◆冬期間のうち、約5割の日数では圧雪・凍結等の路面状況となり、急カーブや急勾配でのヒヤリハットが増加。
- ◆事故の面では、線形が良くすべての利用者が安心して走行できる道路環境の確保が課題。

凡例

【死傷事故 (H25~R4)】

- ⊗: 追突
- ⊗: 正面衝突
- ⊗: 出会い頭
- ⊗: 車両相互その他
- ⊗: 車両単独
- ⊗: 物損事故

【物損事故 (R2~R5)】

- ⊗: 物損事故

【平面曲線半径(R)】

- ◇: 150m未満

【縦断勾配(i)】

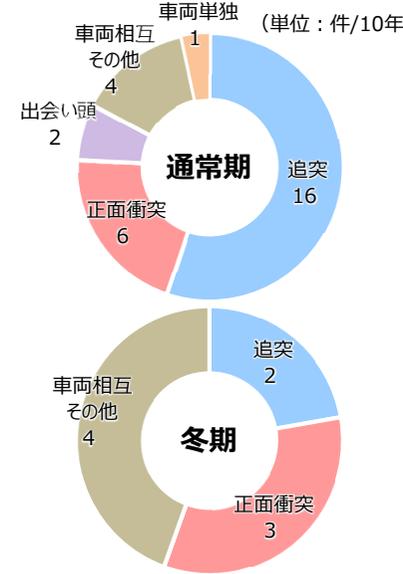
- ▲: $i > 5.0\%$
- ▲: $5.0\% \geq i \geq 4.0\%$

●: 沿道出入り箇所

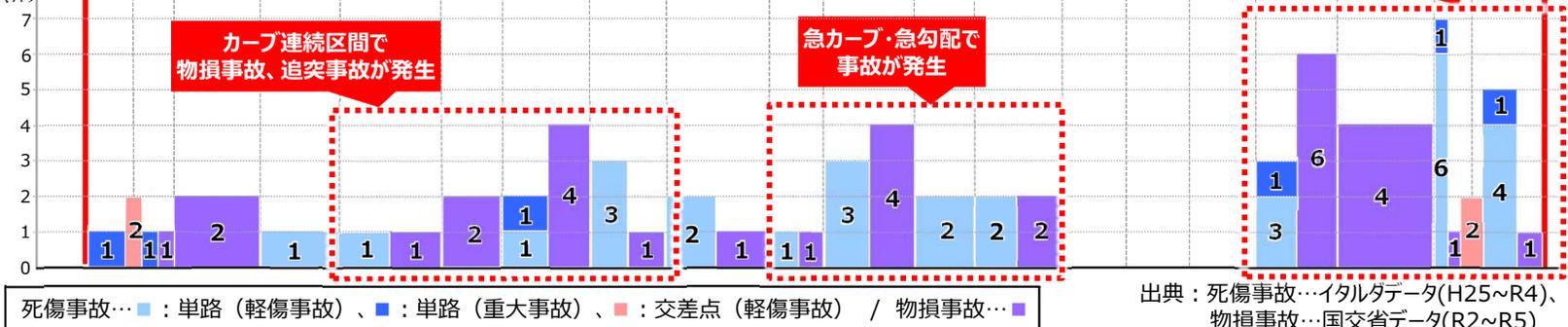
【図1】線形不良箇所と事故発生状況



【図2】対象区間における事故類型



死傷事故発生件数 (件/4年)
物損事故発生件数 (件/10年)



【図3】生保内地区の冬期路面状況



【写真1】正面衝突事故



【写真2】追突事故



【写真3】沿道出入り箇所の状況



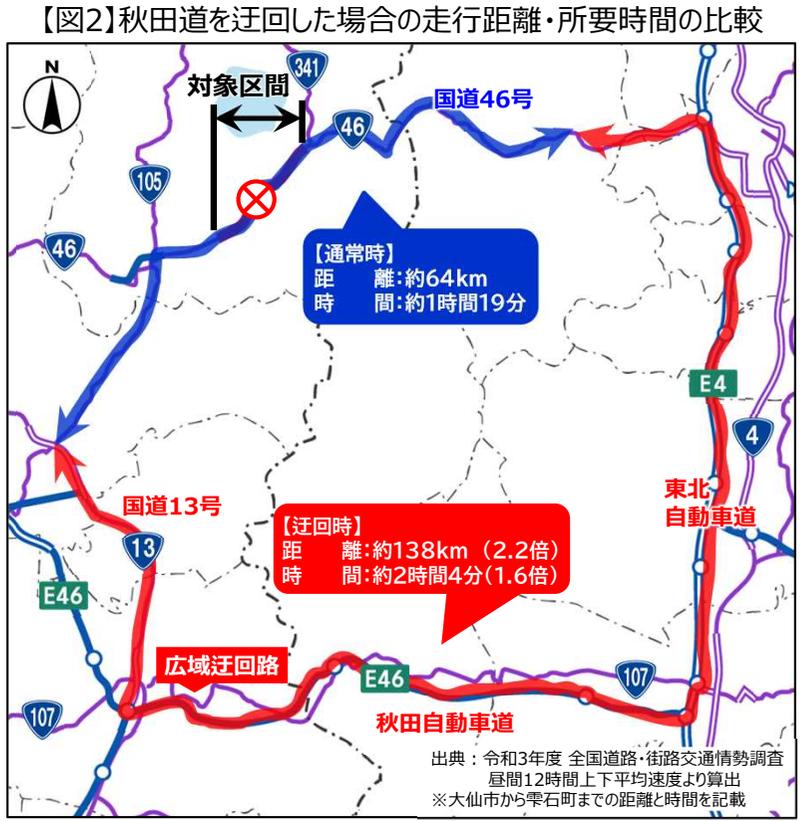
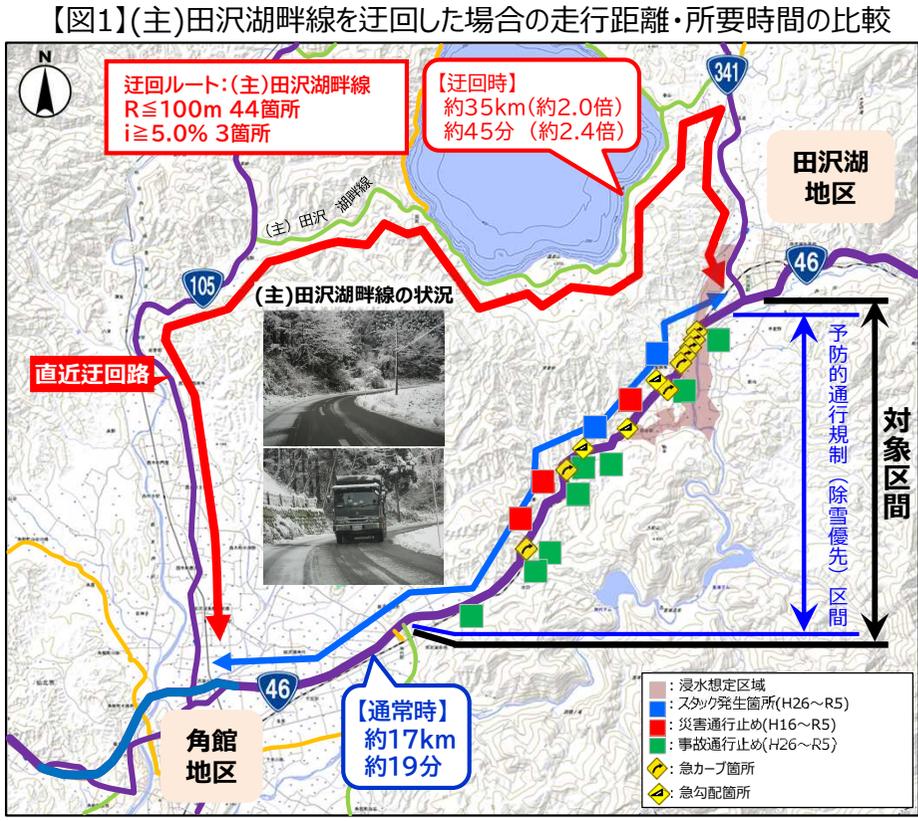
【企業・地域の声】

- 沿道出入り箇所での事故の危険性がある。
- 冬期間の積雪や路面凍結のため急カーブや急勾配でのヒヤリハットが多い。
- カーブ区間で対向車 (特に大型車) と衝突しそうになる時があり危険。

(第1回意見聴取結果より)

2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（防災）

- ◆対象区間は、急峻な地形が連続する山間部に位置しており、急カーブ・急勾配が連続するため、立ち往生が発生しやすい場所として集中的・効率的に優先して除雪を行う予防的通行規制区間に指定。
- ◆その区域内では、過去に豪雨災害による法面崩落や路面冠水が発生している他、事故による通行止めも発生。
- ◆災害、事故発生時には長時間の通行止めが発生するが、(主)田沢湖畔線を利用した直近迂回路には道路課題もあり、秋田自動車道を利用した広域迂回を強いられることもあることから、防災の面では迂回路の確保が課題。



【表1】対象区間における全面通行止め実績

事象	発生日	通行止め時間	事象	発生日	通行止め時間
災害 (路面冠水)	H19.9.17	5時間10分 (対象区間のうち 2箇所被災)	交通事故	H30.3.30	1時間42分
災害 (法面崩落)	H22.7.30	2時間55分	交通事故	R3.11.30	43分
交通事故	H27.3.11	7時間13分	交通事故	R4.1.11	1時間17分
交通事故	H28.10.31	29分	交通事故	R4.3.6	7時間16分
交通事故	H29.5.19	2時間00分	交通事故	R5.6.21	19分

出典：国交省データ(H16~R5)

【企業・地域の声】

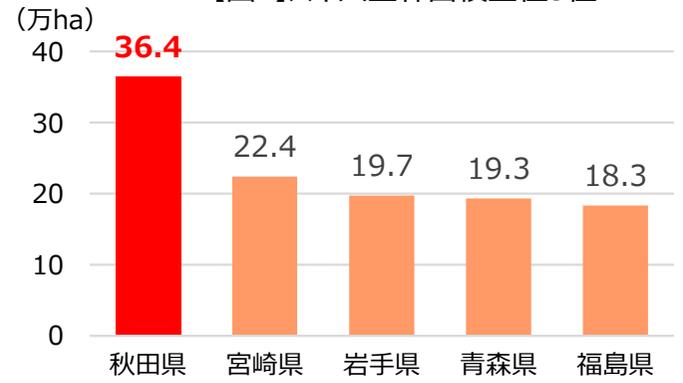
- 災害事故発生時に田沢湖畔線は幅員が狭く危険なため、基本的に秋田自動車道を迂回する。高速料金は自社負担となる。
- 通勤通学時に通行止めになると迂回路がないため出社や登校、病院等の予約時間に間に合わないことがある。
- 大雪の際のスリップ事故やスタックによる通行止めが多い。

(第1回意見聴取結果より)

2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（産業・物流① 地域産業）

- ◆秋田県はスギ人工林面積が全国トップであり、木材関連産業の活性化に向けた対策に取り組んでいる。
- ◆秋田県内にある製材工場では、秋田県内、岩手県内の各地から原木等を搬入し、製品出荷量は近年増加傾向。
- ◆原木搬入時には国道46号を利用しており、線形不良箇所での荷崩れや品質低下、通行止め時の広域迂回リスクが生じている。
- ◆地域産業の支援に向けて、円滑な物流環境の確保が課題。

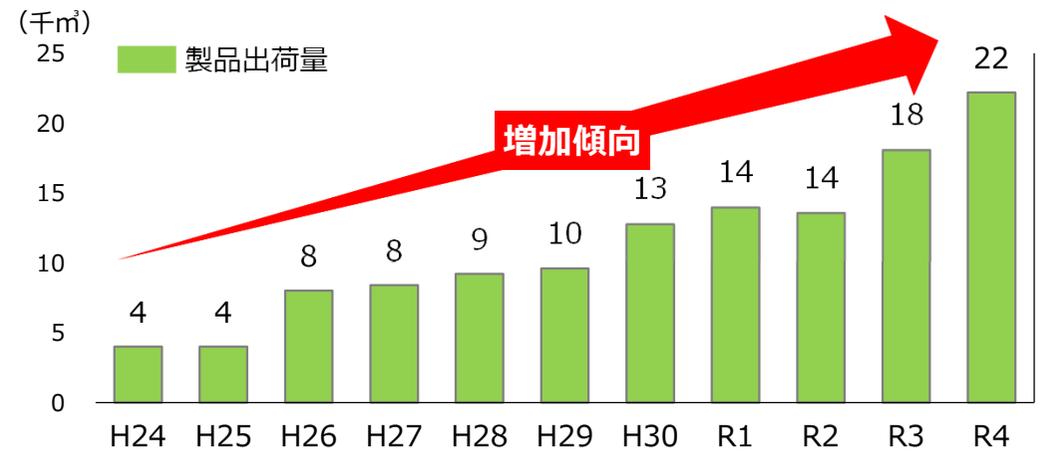
【図1】スギ人工林面積上位5位



資料：林野庁 森林資源の現況 (R4.3.31現在)

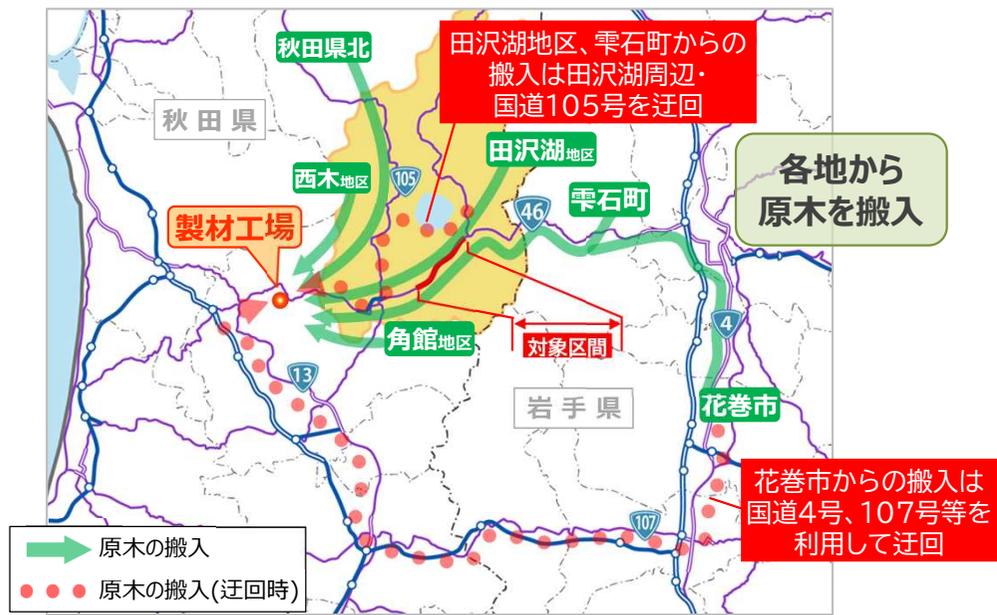
【第2期秋田県林業木材産業基本計画】
 本県の木材関連産業の活性化を図るため、木材・木製品の安定供給体制を整備することが必要

【図3】国道46号沿線木材加工業者の出荷量



資料：R6.3企業提供

【図2】原木の搬入経路の一例



資料：R6企業ヒアリングをもとに作成

【図4】原木・木材加工品のイメージ



【国道46号沿線の製材工場の声】

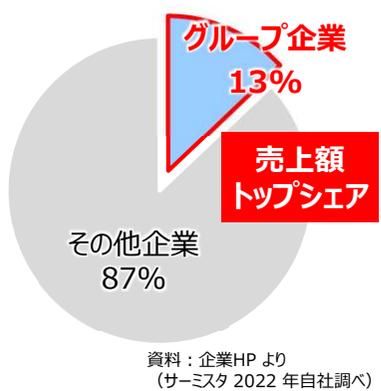
- 国道46号はカーブが多いため、荷崩れを起こし製品の破損や質の低下を引き起こす。
- 資材搬入の際に、通行止めになると田沢湖方面か横手方面へ大きな迂回が生じる。
- 搬入・搬出や、従業員の通勤にも影響するため、信頼性の高い迂回路が無いというのは怖い。

(第1回意見聴取結果より)

2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（産業・物流② 地域産業）

- ◆仙北市内にある会社を含む電子機器製造のグループ企業では、自動車等に使用する「温度センサ」を製造しており、世界シェアの約2割を占め、**出荷額・従業員数は増加傾向**。
- ◆材料搬入や工場から物流センターへの運搬は対象区間を利用し、製品は物流センターへ集積した後、関東方面へ出荷。
- ◆対象区間の**冬期交通環境悪化による雇用機会喪失**や通行止めが生じた場合には顧客先を含めた損失リスクが生じる。
- ◆**地域産業の支援に向けて、円滑な物流環境の確保が課題**。

【図1】グループ企業製品の世界シェア



「温度センサ（サーミスタ）」の概要

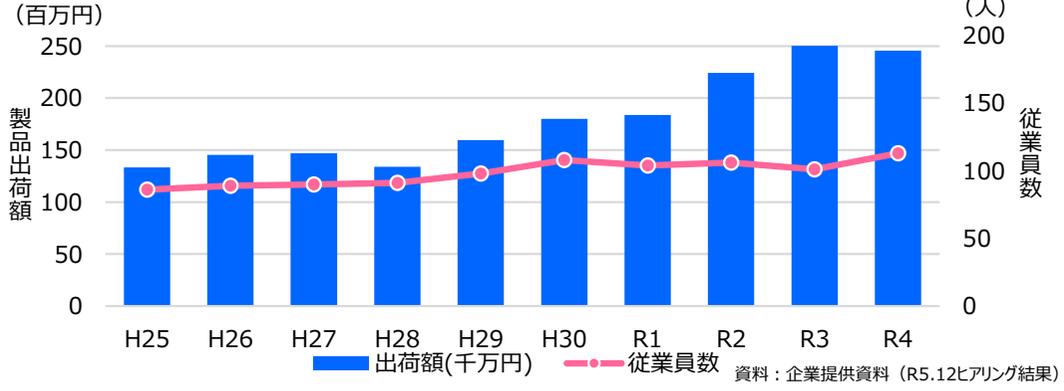
- 温度の変化により、電気の流れにくさ（抵抗値）が変化する事を利用し、温度変化を読み取るセンサの役割を持つ電子部品
- 自動車や空調機器、様々な家電製品、スマートフォンだけでなく、現在、あらゆる分野で電子制御を行う製品が増加

出典：電子部品製造企業より

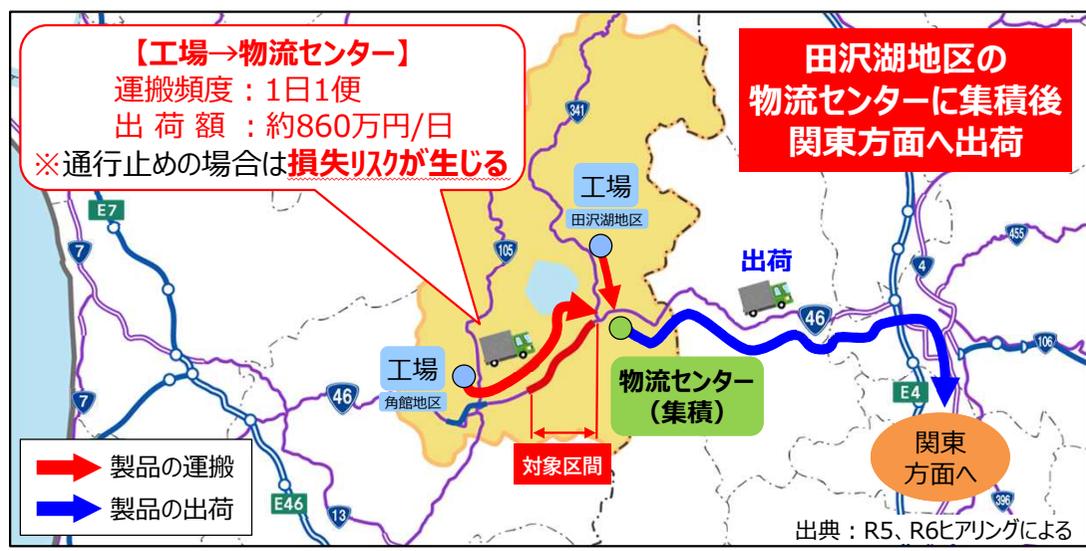
【図3】電子部品工場への材料搬入ルート



【図2】田沢湖地区の電子部品工場の出荷額・従業員数の推移



【図4】電子部品工場からの製品出荷ルート



【電子部品工場（田沢湖地区）の声】

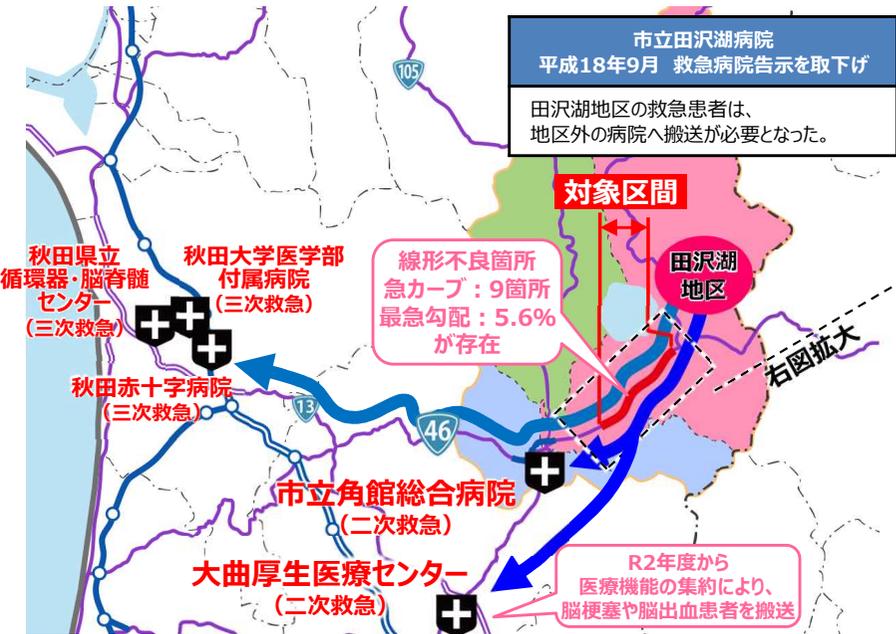
- ジャストインタイムでの納品を目指しているが、**通行止めにより出荷ができないとなると顧客先の製造にも影響が生じ、損失も大きい**。
- リクルート説明会にて、「**国道46号の冬道が怖く、応募を悩んでいる**」という声もあり、**リクルートの支障になっている**。

(第1回意見聴取結果より)

2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（医療）

- ◆田沢湖地区からは、仙北市で唯一の救急医療機関である市立角館総合病院と脳梗塞や脳出血を発症した場合に搬送する大曲厚生医療センターへの救急搬送が約9割を占めており、対象区間が救急搬送ルートとして多く利用されている。
- ◆対象区間は、急カーブ・急勾配が多数存在し、救急搬送時の横揺れが患者の負担となっている他、冬期は堆雪の影響によって対象区間の通過時間が通常期に比べてばらつきが大きい。
- ◆医療の面では、救急搬送ルートとしての安定性と速達性の確保が課題。

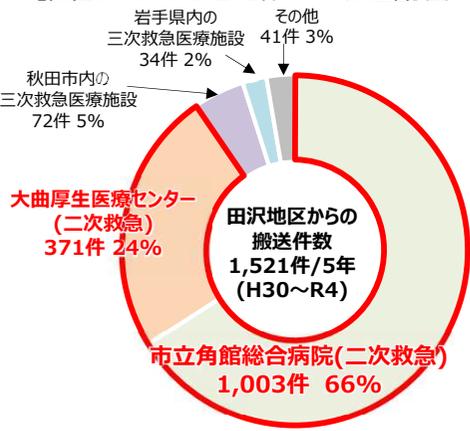
【図1】田沢湖地区から国道46号を利用する救急搬送



【図4】対象区間を利用した救急搬送における横揺れ発生状況



【図2】田沢湖地区からの搬送割合



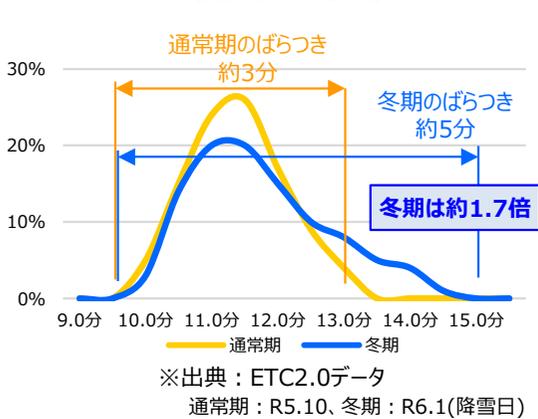
資料：大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

【図3】田沢湖地区からの搬送経路割合(ヒアリング結果)



資料：R5ヒアリング結果

【図5】対象区間通過時間のばらつき【通常期・冬期】



【角館消防署田沢湖分署の声】

- 急カーブや急勾配などでは急ハンドル・急ブレーキとならないように注意している。
- 積雪の影響で幅員が狭くなることに加え、急カーブ、急勾配では減速しながらの運転となるため搬送時間が長くなる。

【市立角館総合病院の声】

- 脳梗塞や脳出血を発症した場合、大曲厚生医療センターへの搬送。病院到着までの時間が生命やその後の後遺症の程度に大きく影響するが冬期は積雪等の影響で速度低下が発生し搬送時間が増加している。

(第1回意見聴取結果)

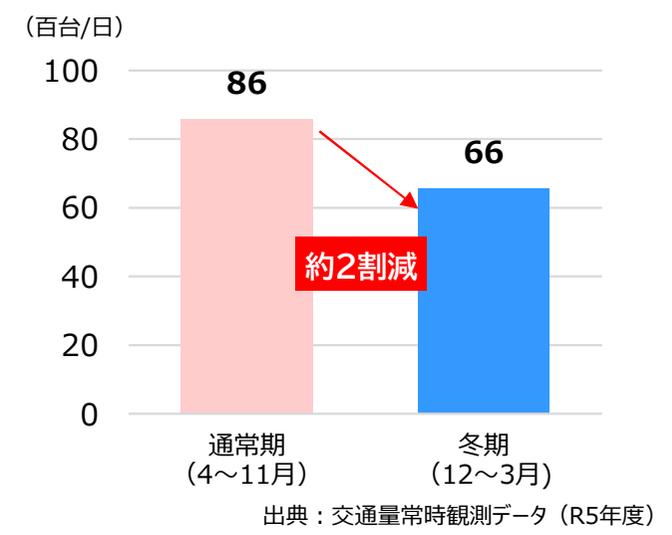
2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（観光）

- ◆秋田港へ寄港したクルーズ船からオプションバスツアーとして仙北市を訪れる際には、国道46号が利用されている。
- ◆しかし、対象区間を含む盛岡秋田道路が未整備なため、滞在時間が短くなってしまい、地域のニーズに答えられていない。
- ◆また、道路状況が悪く、来訪者の足が遠のくことが懸念され、冬期の道路環境悪化により行動意識の妨げに繋がっている。
- ◆観光の面では、観光ルートとしての速達性の向上と年間を通じて安心して走行できる道路環境の確保が課題。

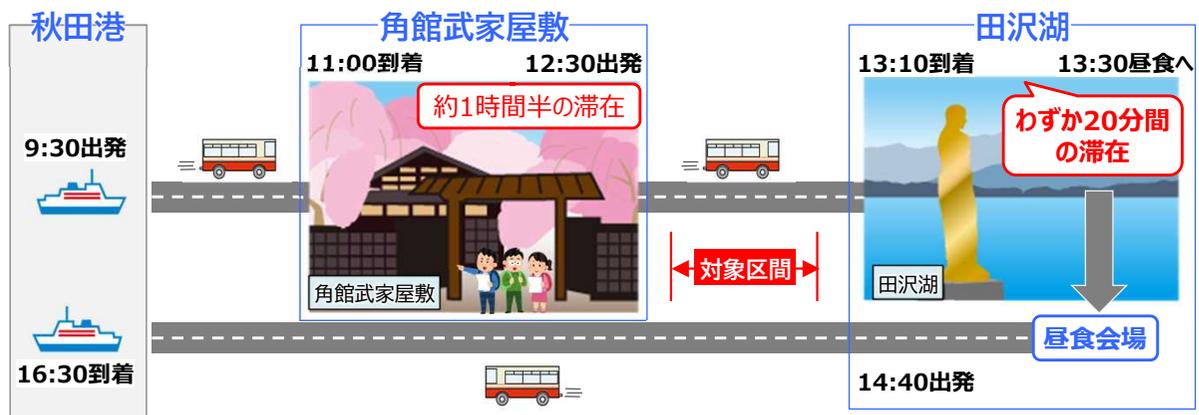
【図1】仙北市の主な観光地



【図3】対象区間の休日小型車交通量



【図2】仙北市方面へのオプションツアー旅程例



出典：秋田県ヒアリングによる ※R5年度の秋田港寄港時のオプションツアーの一例

【団体・企業・地域の声】

- 田沢湖周辺はクルーズ船乗客を始め、**来県観光客の来訪地として有力な場所**であり、当該箇所の整備は観光への効果も高いと感じることから、今後も継続的に整備を推進してもらいたい。
- 急カーブが多く、**速度を落としての走行**となるのでツアー等の**移動時間が長くなってしま**う。
- 冬期は道路状況が悪く**行動意識の妨げに繋がっている**。
- **怖い道**というイメージがあるとお客様の足が遠のくことが**懸念**される。**道路が心のストッパーとならなければ良い**と思う。

(第1回意見聴取結果より)

2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（道路交通・地域の課題とその原因） 30

【表1】道路交通・地域の課題とその原因（第1回委員会提示案に意見聴取結果を踏まえた内容を赤字で反映）

	課 題	原 因
交通環境	<p>○円滑・安全な交通に支障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急ハンドル・急ブレーキなどの急挙動が多発し速度低下が発生 ・積雪時には旅行速度が通常期に比べて約3割低下 ・通常期は沿道出入り箇所での追突事故の割合が多い ・冬期は線形不良区間における正面衝突の割合が多い ・冬期は急カーブや急勾配でのヒヤリハットが増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○線形不良箇所の連続 ○堆雪による幅員狭小 ○沿道の出入り
防災	<p>○信頼性の低い道路ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防的通行規制区間や浸水想定区域が存在し、災害発生時には全面通行止めリスクがある ・災害や事故の発生時には長時間の全面通行止めが発生 ・冬期のスタック車両による通行止めの発生 ・直近迂回路での道路課題もあり、広域迂回を強いられることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害・事故発生リスクの存在 ○周辺に迂回路がない
産業・物流	<p>○不安定な物流ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線形不良箇所の影響で荷崩れが発生し、製品の品質が低下 ・長時間の全面通行止め時には出荷停止等の大きな損失が発生 ・冬期の交通環境の悪化による雇用機会の喪失 	<ul style="list-style-type: none"> ○線形不良箇所の連続 ○周辺に迂回路がない
医療	<p>○不安定な救急搬送環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送環境に急カーブ区間が多数存在し、横揺れが発生 ・堆雪の影響で通常期に比べ対象区間の通過に時間が掛かっており時間信頼性が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ○線形不良箇所の連続 ○堆雪による幅員狭小
観光	<p>○周遊観光の連絡性が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間がかかるため、観光地の滞在時間が不足 ・道路環境が悪く、来訪者の足が遠のくことへの懸念 ・冬期の交通環境の悪化による周遊観光の妨げ 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地間を結ぶ道路ネットワークが不十分 ○線形不良箇所の連続

政策目標（案）

- ▶ **円滑・安全な交通環境の確保**
- ▶ **信頼性の高い道路ネットワークの確保**
- ▶ **安定した物流ルート確保**
- ▶ **安定した救急搬送環境の確保**
- ▶ **観光振興の支援**

3-1. 政策目標の設定

◆「第1回地域の意見聴取の結果」や「地域の将来像」から、「円滑・安全な交通環境の確保」「信頼性の高い道路ネットワークの確保」「安定した物流ルートの確保」「安定した救急搬送環境の確保」「観光振興の支援」の5項目を政策目標とする。

	交通環境	防災	産業・物流	医療	観光
道路交通・地域の課題	○円滑・安全な交通に支障	○信頼性の低い道路ネットワーク	○不安定な物流ネットワーク	○不安定な救急搬送環境	○周遊観光の連絡性が不十分
地域の将来像	【秋田県新広域道路交通ビジョン】 ◆ 広域道路交通網の充実 ・県内に残存するミッシングリンクの解消 ・広域道路網におけるサービス水準の確保	【秋田県新広域道路交通ビジョン】 ◆ 非常時における道路ネットワーク機能の維持 ・災害に強く多重性の高いネットワークの形成	【秋田県新広域道路交通ビジョン】 ◆ 物流拠点・交流拠点とのネットワーク強化 ・地域産業の活性化を後押しする道路ネットワークの充実・アクセス強化	【仙北市地域医療計画】 ◆ 安心・安全そして信頼を確立する地域医療を目指して ・地域医療連携をもとに、地域に安定した質の高い医療と看護を提供	【第2次仙北市総合計画（後期基本計画）】 ◆ 質の高い観光地形成 ・「温泉」「桜」「自然」を売りにした競合観光地が点在する中、選ばれる観光地となるため、体験型観光や通年型観光の切り替えを図る
住民や事業者への意見聴取結果	【通年】 ・住民の約7割、事業者の約6割が課題と認識 ・「カーブが多い上に幅員が狭くなるため、運転しづらい」、「民家が多く並んでおり小道から出てくる乗用車に危険を感じることもある」等の意見が寄せられた。 <hr/> 【冬期】 ・住民、事業者ともに約9割が課題と認識 ・「急カーブや急勾配が多く、特に冬期間は精神的負担が大きい」等の意見が寄せられた。	【通年】 ・住民の約7割、事業者の約6割が課題と認識 ・「災害事故発生時に迂回路が無いというのが不安」等の意見が寄せられた。 <hr/> 【冬期】 ・住民の約7割、事業者の約8割が課題と認識 ・「通行止めになると田沢湖畔線を迂回するしか無く、道路幅が狭く特に冬期間は圧雪になっているので大変危険な状態となる」等の意見が寄せられた。	【通年】 ・住民、事業者ともに約6割が課題と認識 ・「国道46号はカーブが多いため、荷崩れを起こし製品の破損や質の低下を引き起こす」、「通行止めにより出荷ができないとなると顧客先の製造にも影響が生じ、損失も大きい」等の意見が寄せられた。 <hr/> 【冬期】 ・住民、事業者ともに約7割が課題と認識 ・「リクルート説明会にて、『国道46号の冬道が怖く、応募を悩んでいる』という声もあり、リクルートの支障になっている。」等の意見が寄せられた。	【通年】 ・住民の約7割、事業者の約6割が課題と認識 ・「急カーブや急勾配などでは急ハンドル・急ブレーキとならないように注意している」等の意見が寄せられた。 <hr/> 【冬期】 ・住民の約8割、事業者の約7割が課題と認識 ・「病院到着までの時間が生命やその後の後遺症の程度に大きく影響するが冬期は積雪等の影響で速度低下が発生し搬送時間が長くなる。」等の意見が寄せられた。	【通年】 ・住民、事業者ともに約6割が課題と認識 ・「怖い道というイメージがあるとお客さんの足が遠のくことが懸念される。道路が心のストッパーとならなければ良いと思う」、「急カーブなどが多く周遊観光に支障が出ている」等の意見が寄せられた。 <hr/> 【冬期】 ・住民の約7割、事業者の約6割が課題と認識 ・「冬期は道路状況が悪く行動意識の妨げに繋がっている」等の意見が寄せられた。

政策目標

円滑・安全な交通環境の確保

信頼性の高い道路ネットワークの確保

安定した物流ルートの確保

安定した救急搬送環境の確保

観光振興の支援

4-1. 対策案のコントロールポイントの考え方(施設等)

◆主要施設や神社のほか、地すべり等の地形・地質等への影響を踏まえ、下記のとおりコントロールポイントを設定。

【図1】施設等のコントロールポイント

対象区間 延長約11km



【コントロールポイント（主要施設等）】
 ①JR秋田新幹線 ②変電所 ③神社・仏閣 ④刺巻湿原

コントロールポイント凡例

記号(色)	内 容
避けるべきもの	
● (赤)	神社、仏閣
● (緑)	変電所
— (黒)	JR秋田新幹線
● (黄)	地すべり警戒区域
● (黄緑)	土石流警戒区域
● (緑)	急傾斜地警戒区域

浸水想定区域の凡例

記号(色)	内 容
■ (黄)	浸水深0.5m未満
■ (黄緑)	浸水深0.5~3.0m未満
■ (赤)	浸水深3.0~5.0m未満
■ (赤)	浸水深5.0~10.0m未満

高圧線鉄塔の凡例

記号(色)	内 容
---□---	高圧線鉄塔

4-2. 地域に配慮すべき事項(自然環境)

◆ 既往文献から、重要な動植物の生息・生育の可能性があり、影響に配慮する必要がある。



クマタカ

- ・環境省：絶滅危惧ⅠB類
 - ・秋田県：絶滅危惧ⅠB類
- 鳥綱タカ目タカ科の鳥類。
北海道から九州の森林地帯に生息。



カモシカ

- ・文化庁：特別天然記念物
 - ・秋田県：留意種
- 偶蹄目ウシ科の哺乳類。
中国地方を除いた本州、四国、九州の山地や丘陵地に生息する日本固有種。



■ 周辺で確認されている重要種（動物）

- ・クマタカ（環境省：絶滅危惧ⅠB類、秋田県：絶滅危惧ⅠB類）
- ・コテングコウモリ（秋田県：絶滅危惧Ⅱ類）
- ・カモシカ（文化庁：特別天然記念物、秋田県：留意種）
- ・トミコ属雄物型（環境省：絶滅器具ⅠA類、秋田県：絶滅危惧ⅠA類） 他

■ 周辺で確認されている重要種（植物）

- ・クルマバハグマ（秋田県：準絶滅危惧）
- ・エビネ（秋田県：準絶滅危惧） 他

出典）

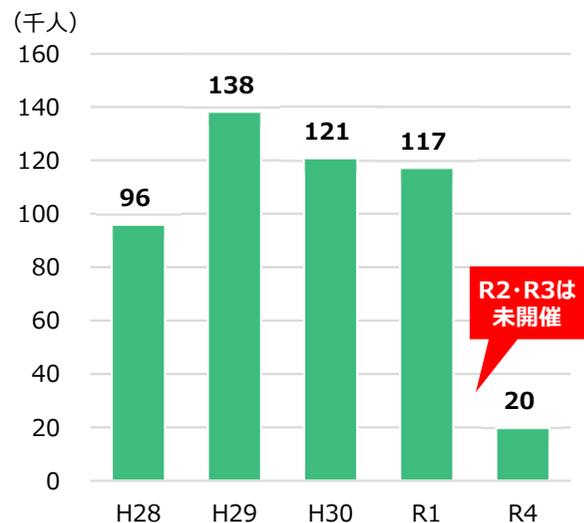
- 「環境アセスメントデータベース“EADAS”」（環境省）
- 「生物多様性調査 動植物分布調査(淡水魚類）」（環境省）
- 「秋田県版レッドデータブック2014維管束植物」（秋田県）
- 「秋田県版レッドデータブック2016動物Ⅰ」（秋田県）
- 「秋田県版レッドデータブック2020動物Ⅱ」（秋田県）
- 「令和5年度 秋田県 鳥獣保護区等位置図」（秋田県）
- 「第3回自然環境保全基礎調査 秋田県 自然環境情報図」（秋田県）
- 「北東北維管束植物分布図」（藤原陸夫・阿部祐紀子）

4-2. 地域に配慮すべき事項(観光拠点 刺巻湿原)

- ◆対象区間沿線に位置する刺巻湿原は広いハンノキ林に囲まれた「水ばしょう」の群生地となっている。
- ◆湿地帯一面に白い水ばしょうの花が咲くのは珍しく、国道や鉄道路線に近い山間に、このような群生地とハンノキ林があるのは学術上でも貴重であり、「生物多様性保全上重要な里地里山」にも登録されていることから、影響に配慮する必要がある。



▼刺巻水ばしょう祭りの入込推移



出典：秋田観光統計

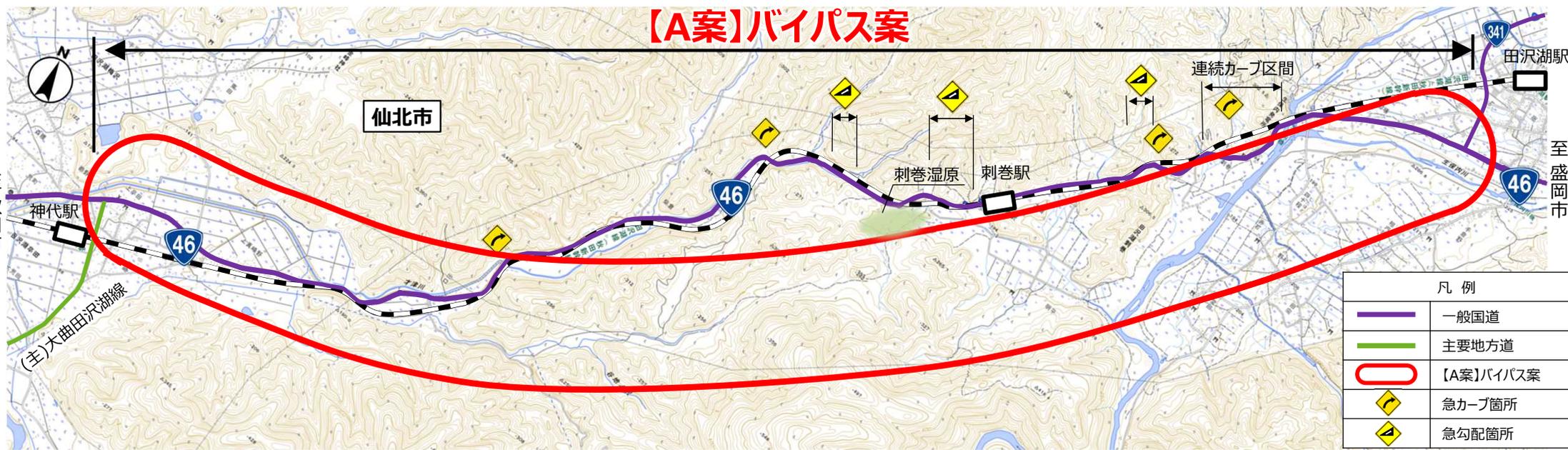
【生物多様性保全上重要な里地里山】

- 実施主体 環境省
- 選定日 平成27年12月18日
- 該当する基準
 - ・①多様で優れた二次的自然環境を有する
 - ・②里地里山に特有で多様な野生動植物が生息・生育する
- 選定理由
 - ・「水ばしょうの郷」として、生活用水や農業用水の水源地であるミズバショウ群生地を地域全体で維持保全している農山村地域である。
 - ・集落の農地、水源地域の手入れの行き届いた二次林、湿原などモザイク状の土地利用が維持されており、ミズバショウやカタクリの群生地が維持・保全されている。また、良好な水辺環境が維持されていることから、ホタルの生息も確認されている。



4-3. ルート帯案の検討[A案:バイパス案]

◆バイパス整備とすることで課題解消を図る案。



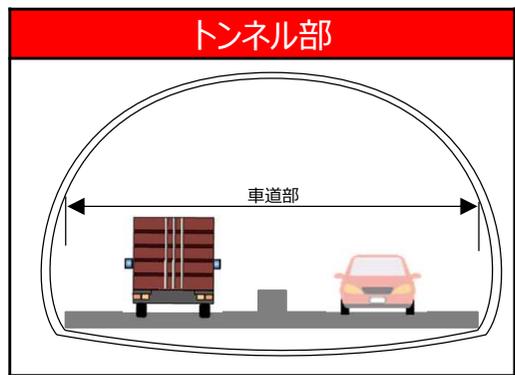
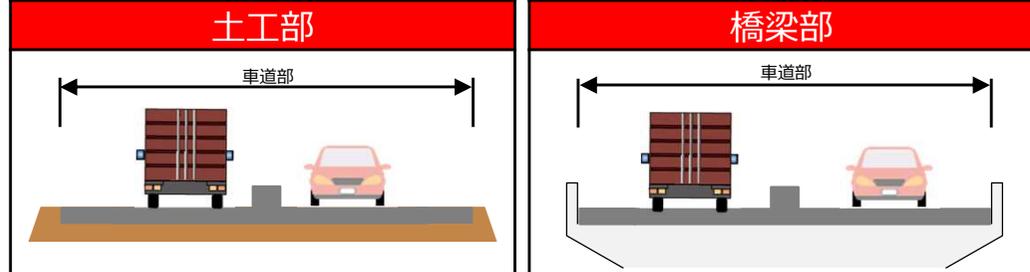
■ 整備概要

延長	約 1.1 km	設計速度	80 km/h
構造	土工、橋梁、トンネル等	コスト	約560～660億円

■ ポイント

- 内容**
- 全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避し、**走行性・安全性向上を図る**
 - 災害・事故による通行止め時の迂回路として**代替機能が確保される**
 - 急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避、代替機能の確保により、**速達性・安定性が向上**
 - バイパス整備のため、**沿線住民・沿道家屋への影響は小さいものの、地形・自然環境への影響が大きい**

■ 断面図 (イメージ)



4-3. ルート帯案の検討[B案:現道改良・一部バイパス案]

◆現道改良・一部バイパス整備とすることで課題解消を図る案

[B案]現道改良・一部バイパス案



■ 整備概要

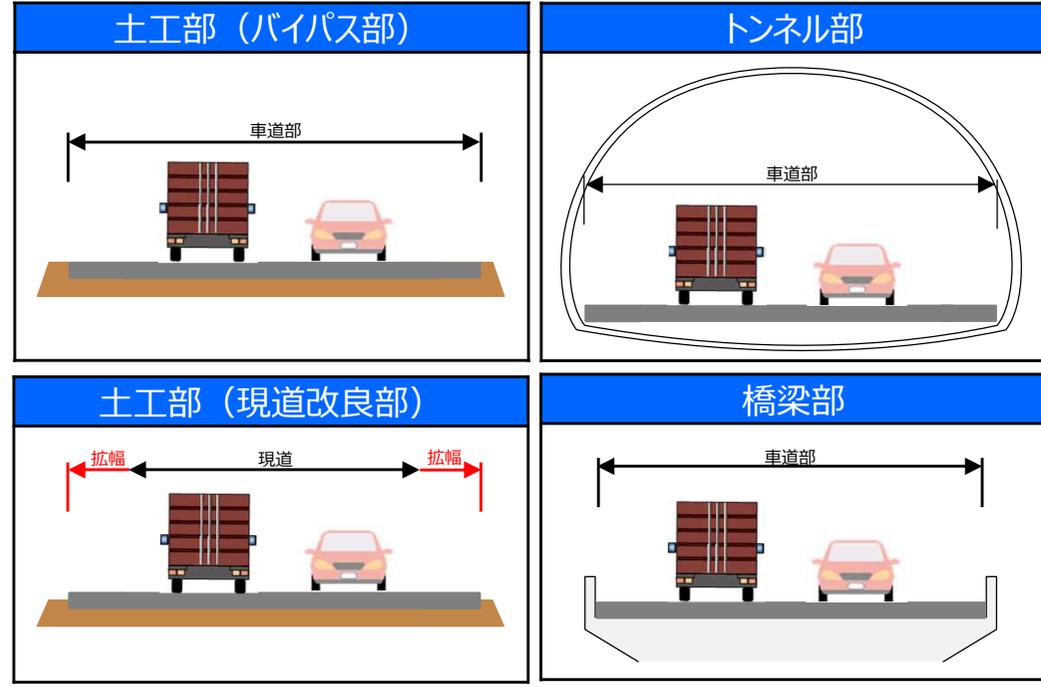
延長	約1.1 km	設計速度	60 km/h
構造	土工、橋梁、トンネル等	コスト	約470~570億円

■ ポイント

- 現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所を解消し、アクセスコントロールすることで、**走行性・安全性向上を図る**
- 現道改良・一部バイパス整備のため、災害・事故による**通行止めリスクは低減**するが、**現道改良区間は代替機能が確保されない**
- 急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所の解消により、**速達性・安定性が向上**
- 現道改良区間は、**地形・自然環境への影響が小さい**が、**沿線住民・沿道家屋への影響は大きい**

内容

■ 断面図 (イメージ)



4-4. 評価項目の設定

- ◆政策目標を達成するために求められる機能について整理し、冬期の課題も踏まえて評価項目を設定した。
- ◆配慮すべき事項については、道路整備による影響等を考慮し、評価項目を設定した。

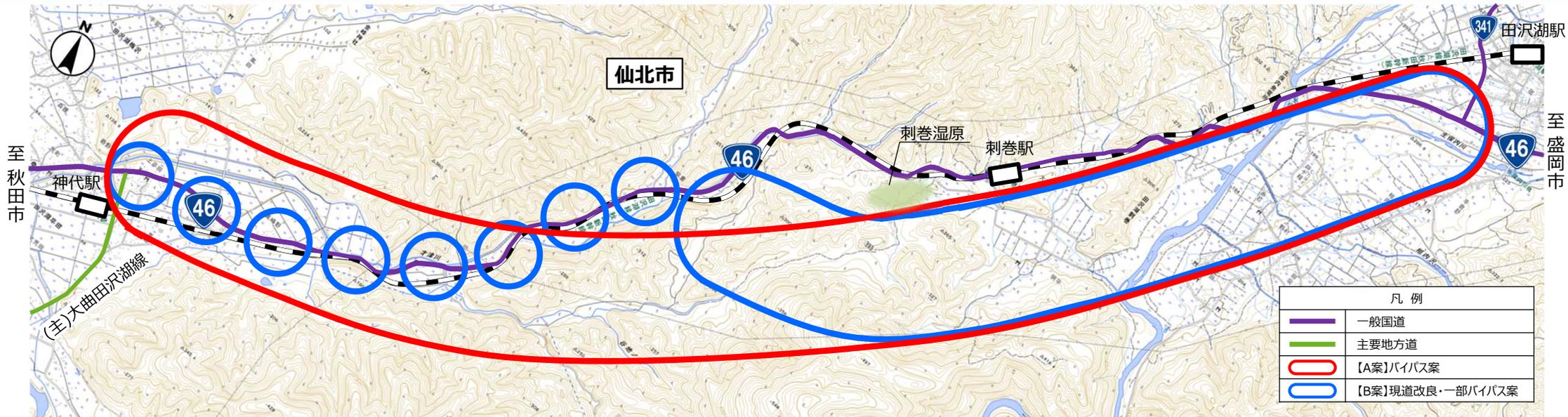
【表1】評価項目の設定

課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通環境	円滑・安全な交通環境の確保	速度低下の改善や事故の減少を図り、走行性・安全性が向上する道路	・円滑・安全な交通環境
防災	信頼性の高い道路ネットワークの確保	年間を通して安定して通行できる道路	・通行止めリスクの低減・代替機能の確保
産業・物流	安定した物流ルートの確保	幹線道路として速達性や安定性が高い物流ルートを確保し、産業・物流を支援する道路	・物流経路の速達性・安定性向上
医療	安定した救急搬送環境の確保	救急搬送における安定した走行を支援する道路	・救急搬送の安定性向上
観光	観光振興の支援	観光地への連絡を強化し、観光振興を支援する道路	・広域移動での速達性・安定性向上

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
沿線環境	・沿線住民、沿道家屋への影響
自然環境	・地形・自然環境の改変
工事の影響	・現道交通への影響
経済性	・整備に関する費用

4-5. 対策案の比較



ルート案		【A案】バイパス案	【B案】現道改良・一部バイパス案
ルート概要		全線バイパス整備により課題解消を図る案 設計速度80km/h	現道改良・一部バイパス整備により課題解消を図る案 設計速度60km/h
政策目標	円滑・安全な交通環境の確保	円滑・安全な交通環境	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、 走行性・安全性が向上
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	通行止めリスクの低減・代替機能の確保	現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所を解消し、アクセスコントロールすることで、 走行性・安全性が向上
	安定した物流ルートの確保	物流経路の速達性・安定性向上	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、 通行止めリスクが大きく低減し、代替機能も確保される
	安定した救急搬送環境の確保	救急搬送の安定性向上	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避し、代替機能を確保することで、 物流経路の速達性・安定性が向上
	観光振興の支援	広域移動での速達性・安定性向上	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、 救急搬送の安定性が向上
配慮すべき事項	沿線環境	沿線住民・沿道家屋への影響	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、 広域観光の速達性・安定性が向上
	自然環境	地形・自然環境の改変	全線バイパス整備のため、 沿線住民・沿道家屋への影響が小さい
	工事の影響	現道交通への影響	全線バイパス整備のため、 地形・自然環境への影響が大きい
	経済性	整備に関する費用	全線バイパス整備のため、 沿線住民・沿道家屋への影響が大きい
		560~660億円	470~570億円

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により金額が変更となる場合がある。

5-1. 第2回地域の意見聴取の内容

◆地域の意見聴取（第2回）の内容は、地域や道路交通の課題を解消するため示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

1. 地域の意見聴取（第2回）の内容

調査項目	把握する内容	回答方法	備考
1. 属性	年齢、職業	選択式（単一回答）	第1回と同様の意見聴取項目
	住所、第1回アンケート回答の有無	選択式（単一回答）	
2. 対象区間の利用状況について	主な利用目的	選択式（単一回答）	第1回と同様の意見聴取項目
	利用頻度	選択式（単一回答）	
	主な移動手段	選択式（単一回答）	
3. ルート帯案を検討する際に重視すべき項目	どのようなことに重視して計画をすべきか 【政策目標】 A 円滑・安全な交通環境の確保 B 信頼性の高い道路ネットワークの確保 C 安定した物流ルートの確保 D 安定した救急搬送環境の確保 E 観光振興の支援 【配慮すべき事項】 F 沿線環境 G 自然環境 H 工事の影響 I 経済性	選択式（複数回答）	第2回意見聴取項目
	重視すべき理由	自由回答	
4. その他	他に重視すべき項目	自由回答	第2回意見聴取項目

5-2. 第2回地域の意見聴取の対象者と方法

◆ 第1回地域の意見聴取と同様の対象者へ意見聴取を行う。

2. 意見聴取の対象（案）

■ アンケートによる意見聴取の対象（案）

調査対象者		調査方法・規模
地域住民	・ 仙北市	・ 広報誌への同封による全戸配布 約10,500世帯
道路利用者	・ 仙北市、大仙市、秋田市、雫石町、滝沢市、盛岡市	・ Webアンケート ・ 留置きアンケート（21箇所）
事業者等	・ 対象区間の利用企業及び周辺立地企業 秋田・岩手県内（仙北市、大仙市、秋田市、盛岡市、矢巾町等）	・ 郵送配布、郵送回収 250社

■ ヒアリング調査による意見聴取の対象（案）

項目	ヒアリング対象	
関係団体 (40団体)	・ 秋田県（2団体）	・ トラック協会（1団体）
	・ 自治体（1市）	・ 物流業者（8社）
	・ 観光協会（2団体）	・ 警察機関（1団体）
	・ 消防機関（1団体）	・ 農業関連団体（1団体）
	・ 医療機関（1団体）	・ 製造業者（8社）
	・ 教育機関（1団体）	・ 小売業者（1社）
	・ 商工会議所（1団体）	・ 道の駅（3団体）
	・ バス協会（1団体）	
	・ バス事業者（7社）	

3. 地域への意向調査の周知方法

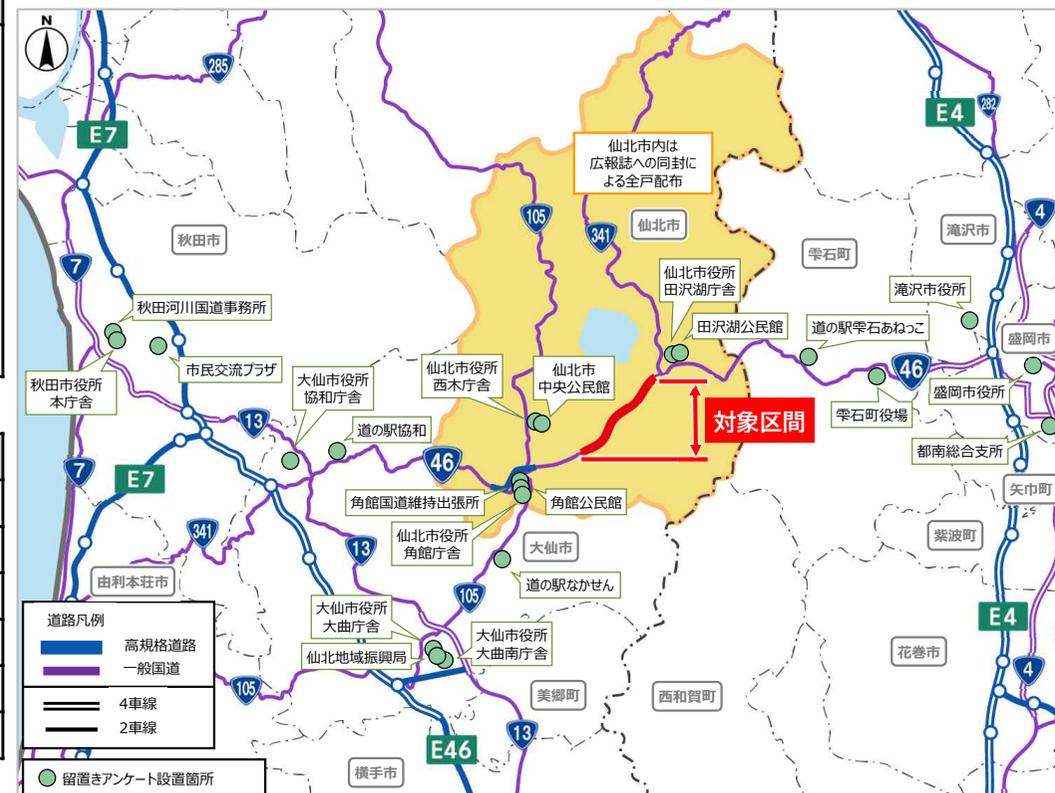
情報提供の項目
秋田県で発行部数の多い新聞にアンケートの協力を呼び掛ける広告を掲載
秋田河川国道事務所、市町村ホームページに意見聴取のバナーを設置し広報を実施
調査対象地域である仙北市等で発行される広報誌に広告を掲載
秋田河川国道事務所や沿線自治体が運営するSNSを用いて幅広く広報を実施
近隣市町村の大学や大型商業施設等における周知を実施
道の駅でのオープンハウスを実施（アンケート協力の呼びかけ）

4. 意見聴取期間

- ・ 1～2ヶ月程度

5. 実施主体

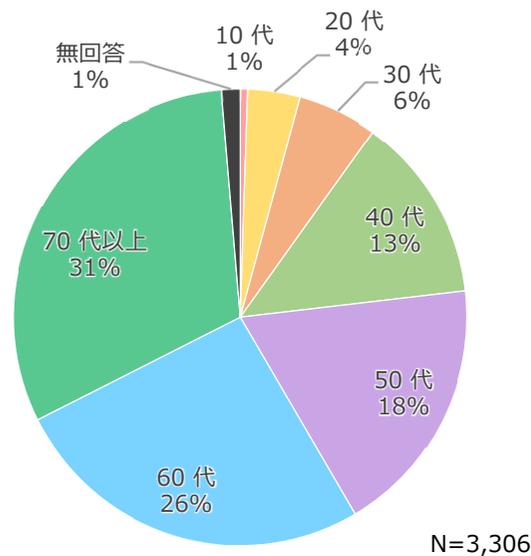
- ・ 国土交通省 秋田河川国道事務所



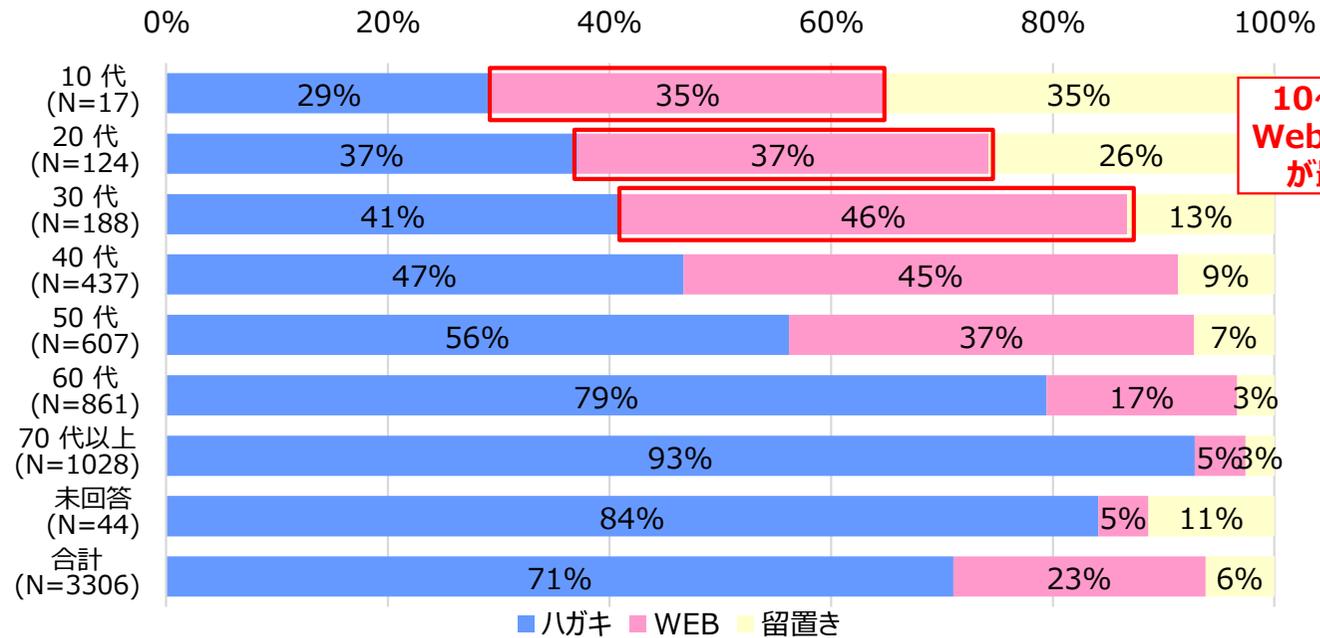
5-3. 第2回地域の意見聴取の新たな取り組み

- ◆ 第1回のアンケート回答者の年齢構成を見ると、10～30代の割合が約1割と低い結果であった。
- ◆ 10～30代はWeb回答者が最も多いことから、関係機関の協力を仰ぎ、SNSでの発信回数を増やす他、自治体が運営する公式LINEでの通知を実施。
- ◆ 道の駅でのオープンハウスを実施する他、近隣市町村の大学や大型商業施設等における周知を実施。
- ◆ また、商工会等を通じて、関係企業へアンケート協力をを行い、10～30代の意見聴取割合を高める。

【図1】回答者の年齢（再掲）



【図2】年齢別の回答方法



10～30代はWebによる回答が最も多い

【図3】仙北市による公式LINE

仙北市公式LINEアカウントによる情報配信がはじまりました！



仙北市
LINE公式アカウント
友だち募集中

【2022年12月1日(木曜日)】
事務事業総合調整室



@city.semboku

このたび、コミュニケーションアプリ「LINE」により、市からの様々な情報を配信することになりました。すでにコロナウイルスワクチン接種予約で仙北市公式LINEを登録済みの方も、トーク画面から受信設定をすることで欲しい情報だけを選んで受信することができます。LINEをご利用の方は、トーク画面から「仙北市」で検索を行うか、右上の二次元コードまたは下記URLから友だち追加をお願いします。

5-4. 地域の意見聴取(第2回)資料案

[アンケート票 表面]

ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています。

政策目標

- A** 円滑・安全な交通環境の確保
- B** 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- C** 安定した物流ルートの確保
- D** 安定した救急搬送環境の確保
- E** 観光振興の支援

配慮すべき事項

- F** 沿線環境
- G** 自然環境
- H** 工事の影響
- I** 経済性

地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました



A案 バイパス案

全線バイパス整備により、課題解消を図る案

設計速度80km/h

B案 現道改良・一部バイパス案

現道改良及び一部バイパス整備により、課題解消を図る案

設計速度60km/h

詳細は裏面をご覧ください>>

Web回答はこちら



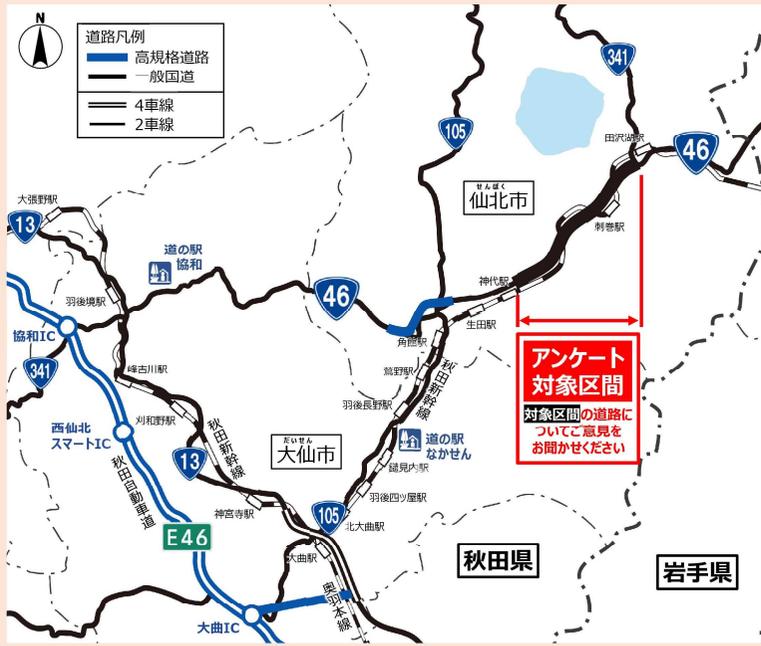
みなさまのご意見をお聞かせください!

盛岡秋田道路 (生保内～卒田) 道路計画に関する第2回アンケート調査

全4問 (約4分程度)

- 国道46号は岩手県盛岡市と秋田県大仙市を結ぶ路線ですが、**対象区間**には急カーブ・急勾配箇所が多数存在しており、走行性が悪いことや事故のリスクがあるなどの課題を抱えています。
- 本アンケートは、**対象区間**の道路計画検討にあたり、対応方針(案)を踏まえ、**対象区間**の課題解決のために重視すべき項目についてご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



今回のアンケートと道路計画の流れ



お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 調査課

TEL 018-864-2289 (平日 8:30~17:15)

Email thr-751tyousadainika@ki.mlit.go.jp



アンケートのご回答は 令和●年●月●日 までをお願いします。

5-4. 地域の意見聴取(第2回)資料案

[アンケート票 裏面]

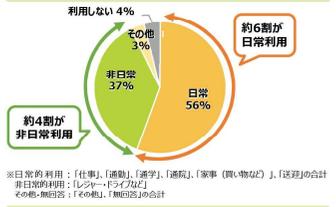
たくさんのご回答ありがとうございました! /

第1回アンケート結果の概要



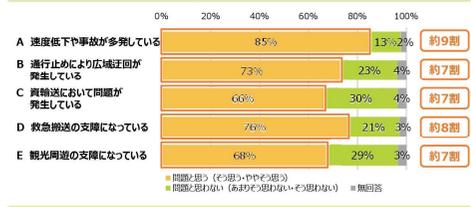
● 対象区間の利用目的

住民・道路利用者 回答票数 3,306 票

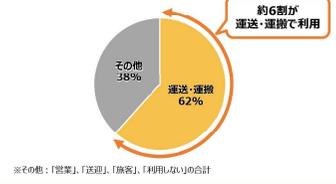


● 課題の認識 [冬期(12月~3月)]

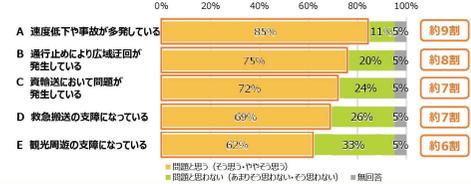
住民・道路利用者 回答票数 3,306 票



事業者 回答票数 102 票



事業者 回答票数 102 票



アンケート結果を踏まえた課題の再整理

A 交通環境

⇒急カーブや急勾配が多く、特に冬期は精神的負担が大きく、カーブ区間で対向車(特に大型車)と衝突しやすくなる時が危険との意見がありました。

B 防災

⇒災害発生時に迂回路がないというのが不安との意見がありました。

C 産業・物流

⇒ジャストインタイムでの納品を目標しているが、通行止めにより出荷ができないとなると顧客先の製造にも影響が生じ、損失も発生するとの意見がありました。

D 医療

⇒急カーブや急勾配などは急ハンドル・急ブレーキとならないように注意している、冬期は積雪等の影響で速度低下が発生し搬送時間が増加しているとの意見がありました。

E 観光

⇒冬期は道路状況が悪く行動意欲の妨げに繋がっているとの意見がありました。

対応方針(ルート帯)の考え方

- A案 バイパス案** 全線バイパス整備により、課題解消を図る案です。
- B案 現道改良・一部バイパス案** 現道改良及び一部バイパス整備により、課題解消を図る案です。



ルート案	A案 バイパス案	B案 現道改良・一部バイパス案
ルート概要	全線バイパス整備により課題解消を図る案 設計速度80km/h	現道改良・一部バイパス整備により課題解消を図る案 設計速度60km/h
政策目標	円滑・安全な交通環境の確保	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、走行性・安全性が向上
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、災害・交通事故発生時の通行止めリスクが大きく低減し、代替機能も確保される
	安定した物流ルートの確保	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避し、代替機能を確保することで、物流経路の速達性・安定性が向上
	安定した救急搬送環境の確保	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、救急搬送の安定性が向上
	観光振興の支援	全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、広域観光の速達性・安定性が向上
配慮すべき事項	沿線環境	全線バイパス整備のため、沿線住民・沿道家屋への影響が小さい
	自然環境	全線バイパス整備のため、地形・自然環境への影響が大きい
	工事の影響	全線バイパス整備のため、現道交通への影響が小さい
	経済性	整備に関する費用 560~660億円

5-4. 地域の意見聴取(第2回)資料案

【事業者用】 [質問票 表面]

Web回答は
こちらから

盛岡秋田道路 (生保内～卒田) 道路計画に関する第2回アンケート調査

事業者用
全4問
(約4分程度)

盛岡秋田道路 (生保内～卒田) の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見を聞かせください。

道路整備により期待される効果の例はこちらから

▼回答方法はWebまたははがきからお選びいただけます。

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください。手軽なWeb回答がおすすめです!

① スマートフォンから
スマートフォンで右の二次元コードからアクセスしてください。

② パソコンから
「秋田河川国道事務所」で検索し、「盛岡秋田道路 (生保内～卒田)」のバナーをクリックしてください。

はがきで回答する 本誌の回答はがきに回答をご記入いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

① 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。

② 回収ボックスに投函
秋田河川国道事務所、仙北市役所、仙北市内の公民館、公共施設、道の駅等の回収ボックスに投函してください。
注) 設置場所の詳細は「秋田河川国道事務所」で検索し、左記バナーからご確認ください。

質問票

このアンケートは対象区間沿線に立地もしくは利用が想定される製造業、運送業等の事業所に配布しています。
企業 (または部署) としてのご回答をお願いいたします。

事業所配布のアンケートは、**各事業所1通分の送付**としております。お近くの郵便ポストに投函いただくか、下記の設置場所の回収ボックスに投函をお願いいたします。

また、インターネットからの回答も可能となっております。

◆返信方法
※以下のいずれかで返信をお願いいたします。
①お近くの郵便ポストに投函をお願いいたします。
②秋田河川国道事務所、仙北市役所、公共施設、道の駅等に設置の回収ボックスに投函をお願いいたします。

◆締め切り **令和●年●月●日 (●)**

回答はがき

郵便はがき

秋田中央局承認

秋田県秋田市山王1丁目10-29
国土交通省 東北地方整備局
秋田河川国道事務所 調査課
アンケート事務局 行

0108790

秋田河川国道事務所

貴事業所についてお聞かせください。

貴社名	
業種	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他 []
電話番号	
所在地	郵便番号 [] [] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []
ご担当者様	所属 [] 氏名 []
第1回アンケートへの回答	<input type="checkbox"/> 回答した <input type="checkbox"/> 回答していない <input type="checkbox"/> わからない

※個人情報(同意なく第三者に開示・提供することはありません。法令により開示を求められた場合を除きます。) ⇒裏面に続きます

[質問票 裏面]

質問票 (回答はがきに記入をお願いいたします。)

質問① 対象区間 (生保内～卒田) の道路利用についてお聞きします。最も当てはまる番号1つを選んでください。

A. 利用頻度 (1つに○)	1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回 6. 利用しない (※質問②へ) 7. その他 (括弧内に記入ください)
B. 主な利用目的 (主なものに1つに○)	1. 営業 2. 運送・運搬 3. 送迎 4. 旅客 5. その他 (括弧内に記入ください)
C. 移動手段 (主なものに1つに○)	1. 乗用車 2. 大型貨物車 3. 小型貨物車 4. その他 (括弧内に記入ください)

質問② 対象区間 (生保内～卒田) の課題解決のための対策案を検討する際に、重視すべきと思われる度合を「重視すべき」「必ずしも重視しなくても良い」「重視しなくても良い」から選んでください。

A. 速度低下が改善され、安全に走行できること	F. 沿線住民・沿道家屋への影響が小さいこと
B. 通行止めリスクが低減し、代替路が確保されていること	G. 自然環境への影響が小さいこと
C. 物流経路の速達性・安定性が向上すること	H. 道路整備による現道交通への影響が小さいこと
D. 救急搬送の安定性が向上すること	I. 整備にかかる費用が安いこと
E. 周遊観光時の速達性・安定性が向上すること	

質問③ 質問②でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

質問④ 質問②でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

対象区間 (生保内～卒田) アンケート調査 回答欄

質問① それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

A. 利用頻度	1	2	3	4	5	6	7 ()	
B. 主な利用目的	1	2	3	4	5 ()			
C. 移動手段	1	2	3	4 ()				

質問② 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。

項目	重視すべき	必ずしも重視しなくても良い	重視しなくて良い
A. 速度低下が改善され、安全に走行できること			
B. 通行止めリスクが低減し、代替路が確保されていること			
C. 物流経路の速達性・安定性が向上すること			
D. 救急搬送の安定性が向上すること			
E. 周遊観光時の速達性・安定性が向上すること			
F. 沿線住民・沿道家屋への影響が小さいこと			
G. 自然環境への影響が小さいこと			
H. 道路整備による現道交通への影響が小さいこと			
I. 整備にかかる費用が安いこと			

質問③ 重視すべきと思われる理由
質問②でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

質問④ 他に重視すべきと思われること
質問②でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

回答例

●あてはまる番号1つに○を付けて下さい。
●自由回答欄にはご意見をご記入下さい。

質問① それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

A. 利用頻度	1	2	3	4	5	6	7 ()	
B. 主な利用目的	1	2	3	4	5 ()			
C. 移動手段	1	2	3	4 ()				

質問② 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。

項目	重視すべき	必ずしも重視しなくても良い	重視しなくて良い
A. 速度低下が改善され、安全に走行できること	○		
B. 通行止めリスクが低減し、代替路が確保されていること		○	
C. 物流経路の速達性・安定性が向上すること		○	
D. 救急搬送の安定性が向上すること		○	
E. 周遊観光時の速達性・安定性が向上すること			○
F. 沿線住民・沿道家屋への影響が小さいこと		○	
G. 自然環境への影響が小さいこと		○	
H. 道路整備による現道交通への影響が小さいこと			○
I. 整備にかかる費用が安いこと			○

質問③ 重視すべきと思われる理由
質問②でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。
そう思われる理由をお書きください (●●●●●●●●●● など)

質問④ 他に重視すべきと思われること
質問②でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。
そう思われる理由をお書きください (●●●●●●●●●● など)

ご協力ありがとうございました

ご協力ありがとうございました